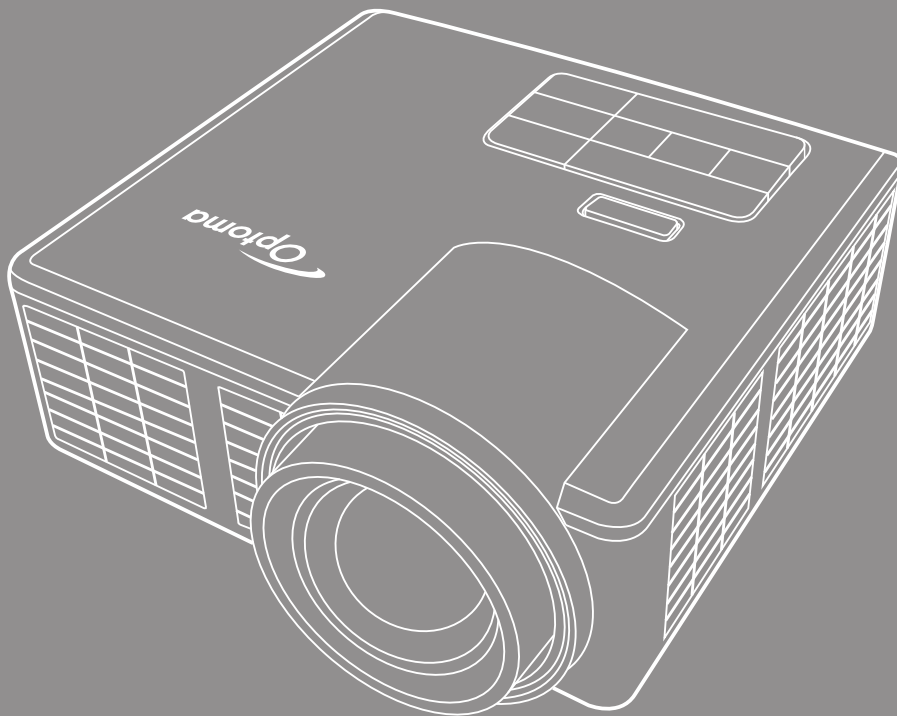


ML750ST 取扱説明書



内容

安全上のご注意	4
使用目的に関する声明	5
安全に関する情報	5
安全ラベル	7
商標	8
ビデオおよびオーディオデコーダに関する注意事項	8
規制に関する注意事項	9
CEに関する声明	10
WEEEに関する声明	10
はじめに	11
同梱されているもの	11
プロジェクターについて	12
本体	12
入力/出力接続	13
コントロールパネル	14
リモコン	15
リモコンの電池の取り付け	16
リモコンの動作範囲	16
設置	17
コンピュータへの接続	17
DVD,Blu-rayプレーヤー等への接続	19
マルチメディアへの接続	20
プロジェクターの電源を入れる/切る	22
プロジェクターの電源を入れる	22
プロジェクターの電源を切る	22
投影画像の調整	23
プロジェクターの角度を調整する	23
プロジェクターのフォーカス調整	23
投写距離表	24
ユーザー制御	25
メニューツリー	25
オンスクリーンディスプレイの使用方法	26
メインメニュー	26
イメージ	27
ディスプレイ	28
設定	29
詳細設定	31

マルチメディアの概要	32
写真形式	32
ビデオ形式	32
オーディオ形式	33
Office ビューアー形式	33
USBメモリ(フラッシュディスク)を使ってマルチメディアファイルを再生する方法	35
マイクロSDカードを使ってマルチメディアファイルを再生する方法	37
内部メモリを使ってマルチメディアファイルを再生する方法	39
マルチメディアメインメニュー	41
システム、USB、マイクロ SD、および、内部メモリに対するマルチメディア設定	41
システム設定	42
写真設定	43
ビデオ設定	44
音楽設定	45
その他のマルチメディア接続	46
PC からのファイルの保存	46
送信側端末との無線接続	48
付録	51
トラブルシューティング	51
ガイド信号	53
互換モード (HDMI/VGA)	54
プロジェクター の三脚への取り付け	55
メモ	56
保証書	60

安全上のご注意

	このマークは、製品の内部に非絶縁型の「危険な電圧」があり、感電の危険がある事をユーザーに警告するのが目的です。
	このマークは、本装置の説明書に記載されている操作と保守（修理）に関する重要な指示があることをユーザーに警告するのが目的です。

警告: 火災や感電の危険性を減らすため、この電気器具を雨や湿気にさらさないでください。
内部は高圧で危険です。分解しないでください。修理は指定の窓口に相談してください。

クラスB排ガス規制

このクラスBデジタル装置は、カナダのインターフェース関連設備規制のすべての要求事項を満たしています。

重要な安全上の指示

1. どの通気孔もふさがらないでください。プロジェクターを確実に操作できるようにし、高温にならないようにするには、通気孔をふさがない場所にプロジェクターを設置することをお勧めします。例としては、プロジェクターの周囲に物を置いたり、ソファ、ベッドなどの上にプロジェクターを載せないでください。空気の流れを制限する本棚やキャビネットなどの囲いの中にプロジェクターを置かないでください。
2. 水や湿気のあるところでプロジェクターを使用しないでください。火災や感電の危険性を減らすには、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、アンプ等の熱源の周辺に設置しないでください。
4. 掃除には、乾いた布だけを使ってください。
5. メーカー指定の取り付け金具/付属品のみを使用してください。
6. 装置に物理的損傷があったり、乱暴な使用がされているものは使用しないでください。
物理的損傷や乱暴な使用とは以下の通りです。（ただしこれらに限定されません）：
 - ❑ 装置一式を落としたことがある。
 - ❑ 電源コードやプラグが損傷している。
 - ❑ 液体をプロジェクターにこぼしたことがある。
 - ❑ プロジェクターを雨や湿気にさらしたことがある。
 - ❑ 何かがプロジェクターの中に落ちている、またはその内側の何かが緩んでいる。装置一式を自身で修理しないでください。カバーを開けたり、外したりすると、高電圧やその他の危険要因にさらされる可能性があります。装置一式を修理に出す前にコンタクトセンターまでご連絡ください。
7. プロジェクターに物や液体が入らないようにしてください。これらが部品に触れることで、火災や感電を引き起こす危険性があります。
8. 安全に関連する印についてはプロジェクターの同封物を参照してください。
9. 本装置一式の修理は、適切なサービス担当者のみが行う必要があります。

使用目的に関する声明

- 動作温度：
 - 0～2,500 フィート、5 °C ～ 40 °C の範囲
 - 2,500 ～ 5,000 フィート、5 °C ～ 35 °C の範囲
 - 5,000 ～ 10,000 フィート、5 °C ～ 30 °C の範囲
- 最大湿度：
 - 動作：相対湿度 10 % ～ 80 % (最大)、結露無し
 - 保管：相対湿度 5 % ～ 95 %、結露無し

周囲動作環境に、空中に浮遊する煤煙、グリース、オイル及びプロジェクターの操作や性能に影響を与える可能性があるその他の汚染物質がないようにします。

悪条件下で本製品を使用する場合、製品保証は無効になります。

安全に関する情報

このプロジェクターを使用する前に、この説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

シグナルワードの説明	
⚠ 警告:	回避しないと、死亡または重傷及び/または物的損害が生じる可能性がある潜在的に危険な状況を示します。
⚠ 注意:	回避しないと、軽傷又は中程度の傷害及び/または物的損害が生じる危険性がある状況を示します。
⚠ 警告:	危険電圧

⚠ 警告

危険電圧に関連するリスクを減らすために：

- どのような方法でも本製品を改造しないでください。
- このプロジェクターを修理しないでください。
- ユーザーが修理可能な部品はありません。修理は、Optoma認定サービスプロバイダが、Optoma純正の修理部品を使用した場合のみ行うことができます。
- 湿った環境で壁面の電源コンセントを使用しないでください。
- 破損した電源コンセントを使用しないでください。破損部品は使用前に交換してください。

火災および爆発に関連するリスクを減らすために：

- プロジェクターに水や飲み物などの液体がかからないようにしてください。
- Optoma 純正の、付属アダプタや電源ケーブル以外は使用しないでください。

窒息に関連するリスクを減らすために：

- リモコンの電池のような小さな部品を、子供またはペットのそばに置かないようにしてください。

危険な電圧、衝撃、つまずき、そして強烈な可視光線に関連するリスクを減らすために：

- 監視する者のいない子供の周りで、このプロジェクターを使用しないようにします。

⚠ 注意

難聴に関連するリスクを減らすために：

- 音量レベルに関してイヤホンメーカーの説明書を必ず読みます。
- ユーザーは、安全な音量レベル設定の責任を負います。

電池の液漏れによる爆発及び/または化学物質に関連するリスクを減らすために：

- 電池タイプCR2025のみを使用します。
- 電池のプラス(+)およびマイナス(-)端子をリモコン上のマークに合せます。
- 長時間リモコン内に電池を入れて放置しないようにします。
- 電池を加熱したり、火に曝さないようにします。
- 電池を分解、ショート、または充電しないようにします。
- ポケットまたはバッグに電池をいれて運ばないようにします。
- 電池の液体が漏れた時、眼および皮膚に接触しないようにします。
- 火気の近くまたは非常に暑い環境で電池を充電しないようにします。

環境汚染に関連するリスクを減らすために：

- 各市町村の条例に従い、廃棄してください。

LED高輝度ライトに関連するリスクを減らすために：

- プロジェクターのレンズを直接覗かないようにしてください。

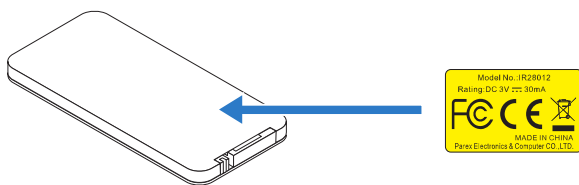
つまずきおよび落下に関連するリスクを減らすために：

- つまずきの危険がないように電源コードおよびデータケーブルを設置してください。

重要な注意：車の中など閉めきった空間でプロジェクターを直接日光にさらさないでください。

次の説明書を保存してください

安全ラベル



リモコン

モデル番号IR28012

商標

Optoma および Optoma ロゴは、Optoma 社の商標です。Adobe および Adobe ロゴは、米国 および/またはその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。Microsoft、PowerPoint、および Excel は、Microsoft 社の登録商標です。MicroSD および MicroSDHC は SD Association の商標です。

その他すべての商標または登録商標は、各社の所有物です。

ビデオおよびオーディオデコーダに関する注意事項

MPEG-4に関する注意事項

本製品は、消費者による個人使用および非商業目的で使用するために、(i) MPEG-4 映像標準 (以下、「MPEG-4 ビデオ」という) に準拠してビデオをエンコードすることおよび/または、(ii) 個人使用および非営利活動に従事する消費者がエンコードした MPEG-4 ビデオ及び/または MPEG LA から MPEG-4 ビデオ提供のビデオプロバイダーライセンスを取得した MPEG-4 ビデオをデコードすることについて、MPEG-4 映像特許ポートフォリオライセンスに基づいて使用許諾されています。ライセンスは許諾されておらず、また、その他の用途に関し黙示的に認められていません。販売促進、社内および商用的利用およびライセンスに関する追加情報は、MPEG LA, LLC から取得することができます。<http://www.mpegla.com> を参照してください。

AVCビデオに関する注意事項

本製品は、消費者による個人使用および非商業目的で使用するために、(i) AVC 標準 (以下、「AVC ビデオ」という) に準拠してビデオをエンコードすることおよび/または、(ii) 個人使用および非営利活動に従事する消費者がエンコードした AVC ビデオ及び/または AVC ビデオ提供のビデオプロバイダーライセンスを取得した AVC ビデオをデコードすることについて、AVC 特許ポートフォリオライセンスに基づいて使用許諾されています。ライセンスは許諾されておらず、また、その他の用途に関し黙示的に認められていません。追加情報は、MPEG LA, LLC から取得することができます。<http://www.mpegla.com> を参照してください。

MPEGレイヤ3に関する注意事項

本製品の供給は、この製品で作成したMPEGレイヤ3互換コンテンツの収益生成放送システム (地上波、衛星、ケーブル及び/またはその他配信チャンネル)、ストリーミングアプリケーション (インターネット、イントラネット及び/またはその他ネットワーク経由)、その他のコンテンツ配信システム (有料オーディオまたはオーディオダイヤモンドアプリケーションおよびその類似) または物理メディア (CD、DVD、半導体チップ、ハードドライブ、メモリカードおよびその類似) への配信に関するライセンスおよび権利を意味するものではありません。そのような利用には、個別のライセンスが必要です。

詳細は、<http://mp3licensing.com> を参照してください。

規制に関する注意事項

FCC声明 - クラスB

本製品はラジオ周波数を発生、使用、放射しますので、説明書通り正しく設置および使用されていない場合はラジオ混信を招く恐れがあります。FCC規則のパート 15 サブパート B に定められたクラス「B」コンピューティングデバイスの制限事項に準拠しており、住宅に設置し操作される場合、干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。ただし、正しくインストールが行われている場合においても、絶対に妨害を招かないという保証はありません。本製品がラジオもしくはテレビ受信に対して妨害を招き、装置の電源を入れたり切ったりすることで、本製品が原因であることが明らかである場合は、以下の要領で妨害の修正を試みて下さい。

- 受信アンテナを再編成するか、位置を移動する。
- 本装置と受信機の間隔を広げる。
- 本装置を、受信機が接続されているものとは別の電源に接続し直す。
- ラジオ/テレビの専門技師に問い合わせる。

注意：当Class Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

カナダ産業省の規制情報

本装置の操作は以下の条件の対象となります。

- (1) この装置は、干渉を引き起こす場合があります、そして、
- (2) 本装置は操作に有害な干渉を含め、すべての干渉を受けます。

ユーザーは、RF曝露要件を満たすためにこのマニュアルに指定された通りに本装置を使用する必要がありますことに注意します。このマニュアルに一致しない方法で本製品を使用すると、過度のRF曝露状態につながる可能性があります。

このクラス[B]デジタル装置はカナダICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe [B] est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

ユーザーへの指示：本製品は、次の条件を満たすと、FCC機器要件に準拠します。ケーブルにEMIフェライトコアを含める場合は、プロジェクターへのケーブル端にフェライトコア取り付けます。プロジェクターに付属または指定されたケーブルを使用してください。

メモ：準拠に関する責任当事者の明示的な承認のない変更や修正は、機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

IDA標準DA103121に準拠

CEに関する声明

電磁適合性に関する声明： 2004/108/EC 指令に適合

低電圧指令： 2006-95-EC 指令に適合。

WEEEに関する声明

以下の情報は、EUメンバー国用です：

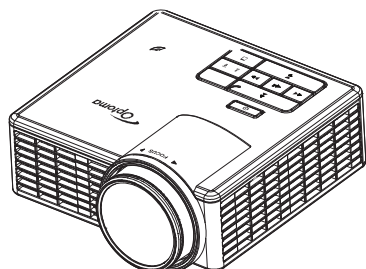
右側に表示されているマークは廃電気電子機器指令2002/96/EC (WEEE) に準拠しています。マークは、地方自治体の廃棄物として機器を廃棄せず、現地の法律に従って適切な回収システムを使用するように要件を示します。



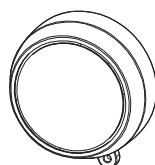
はじめに

同梱されているもの

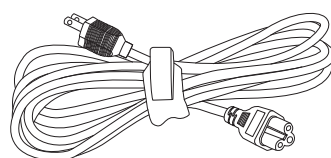
このプロジェクターには次のものが付属しています。すべてのアイテムがあることを確認し、欠けているものがある場合は、最寄りの販売店またはコンタクトセンターにご連絡ください。



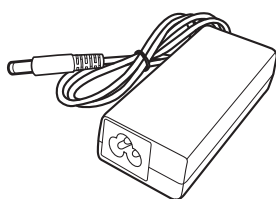
プロジェクター



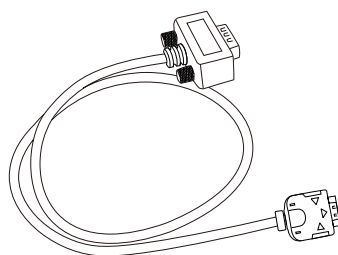
レンズキャップ



電源コード



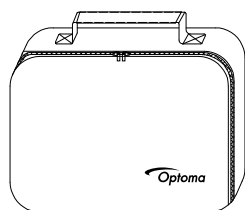
ACアダプタ



ユニバーサル 24ピン
VGA ケーブル



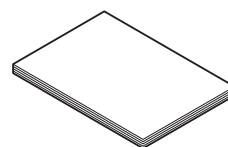
MHL ケーブル



キャリングケース



リモコン



ベーシックユーザーマニュアル、
取扱説明書

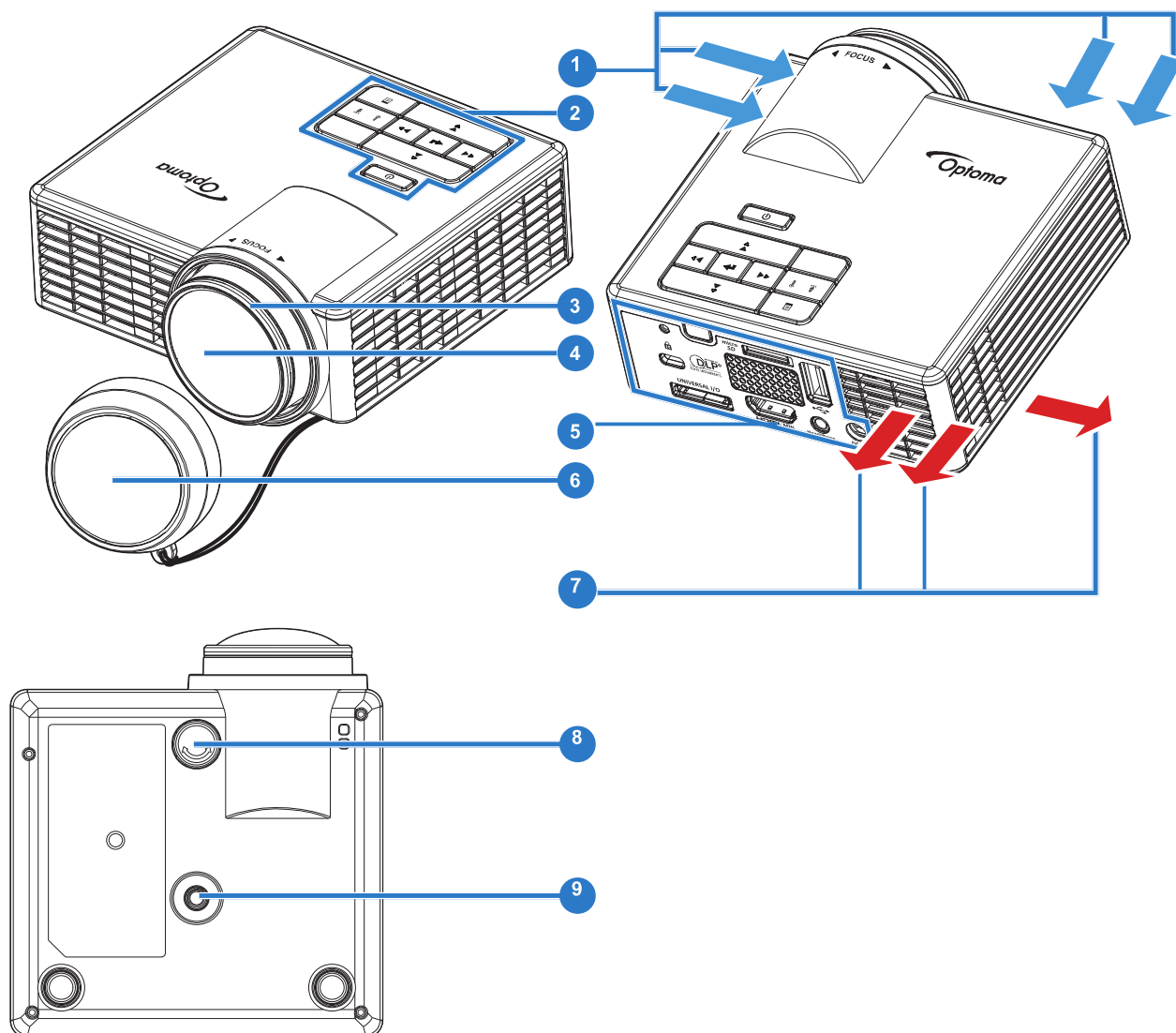


HD-CastPro専用
Wi-Fi ドングル

メモ: リモコンは、電池付きで出荷されます。(ボタン型電池 CR2025)

プロジェクターについて

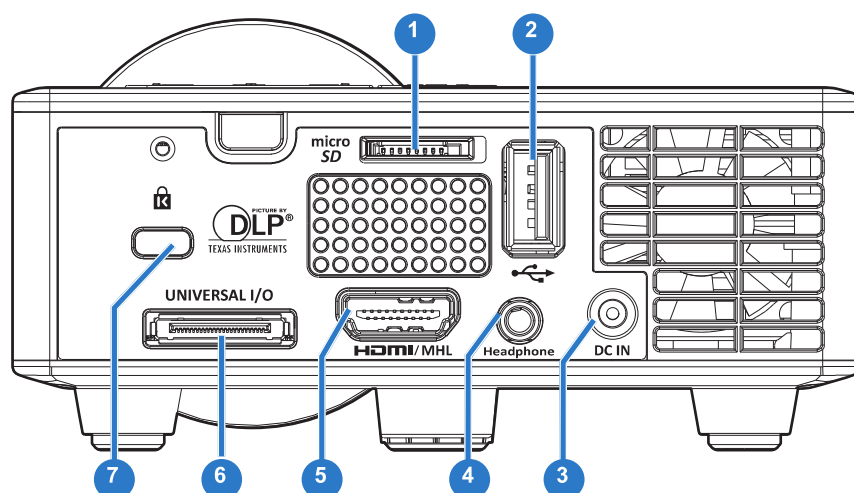
本体



説明

- 1 換気(吸気口)
- 2 コントロールパネル
- 3 フォーカスリング
- 4 レンズ
- 5 入力/出力接続
- 6 レンズキャップ
- 7 換気(排気口)
- 8 傾斜調整ホイール
- 9 三脚用ねじ穴

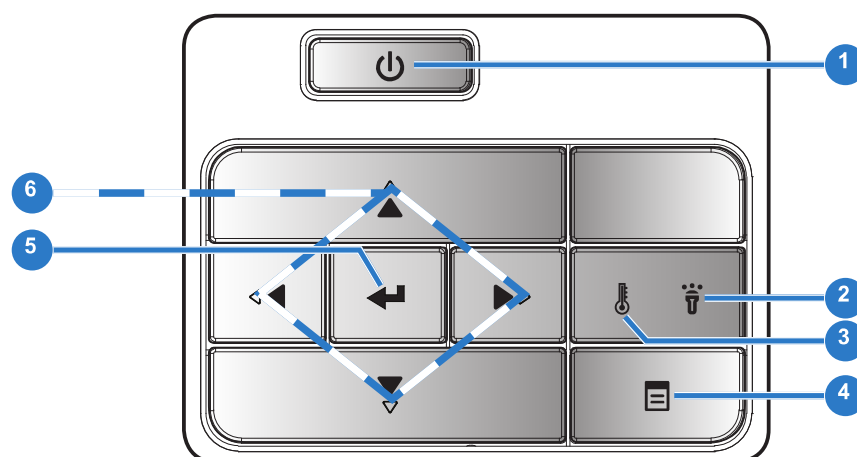
入力/出力接続



説明

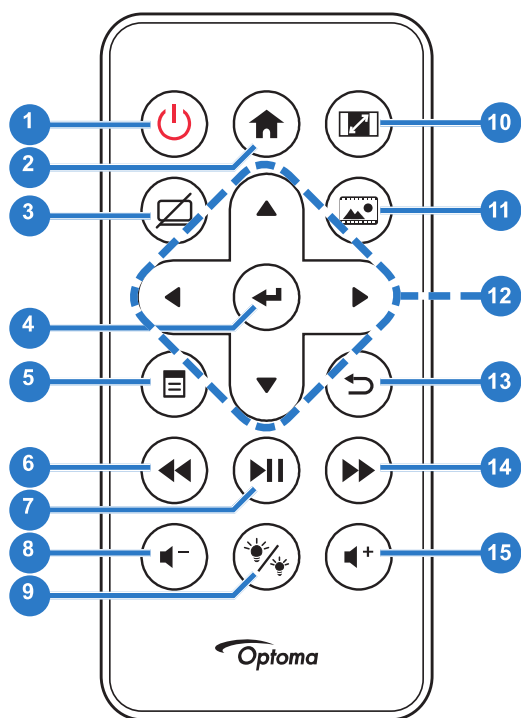
- 1 マイクロSDカードスロット
- 2 USBタイプAコネクタ
- 3 DC入力コネクタ
- 4 ヘッドフォンコネクタ
- 5 HDMI/MHLコネクタ
- 6 ユニバーサルI/Oコネクタ
- 7 セキュリティケーブルスロット

コントロールパネル



#	名称	説明
1	電源	プロジェクターの電源のオン/オフを切り替えます。
2	エラーLED	エラーLEDがオレンジ色で点灯している場合、LEDが故障しています。プロジェクターは自動的にシャットダウンします。
3	温度LED	温度LEDのオレンジ色のインジケータが点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われます。 • プロジェクターの内部温度が高すぎます。 • ファンが故障しています。
4	メニュー	このボタンを押してOSDを起動します。方向キーと メニュー ボタンを使って、OSD を操作します。
5	Enterキー	このボタンを押して選択項目を確定します。
6	4方向選択キー	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。

リモコン



#	名称	説明
1	電源	プロジェクターの電源のオン/オフを操作します。
2	ホーム	このボタンを押すと、ホーム画面を表示します。
3	ミュート	このボタンを押して、OSDメニューで選択したミュート設定に応じて、オーディオまたはビデオのミュートを設定/解除します。 (メイン > 設定 > 詳細設定 > ミュート)
4	Enterキー	このボタンを押して選択を確定します。
5	メニュー	このボタンを押してOSDを起動します。
6	巻き戻し	音声、動画ファイルなどの巻き戻しを行います。
7	再生/一時停止	このボタンを押してメディアファイルを再生/一時停止します。
8	音量ダウン	このボタンを押して音量を下げます。
9	LEDモード	表示モードを選択できます。
10	縦横比	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
11	メディアモード	このボタンを押して、入力ソースをメディアに変更します。
12	上/下/左/右	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの項目を操作します。
13	戻る	このボタンを押して、前のページに戻ります。
14	早送り	音声、動画ファイルなどの早送りをを行います。
15	音量アップ	このボタンを押して音量を上げます。

メモ: ホームおよび戻るボタンは、メディアモードでのみ使用することができます。

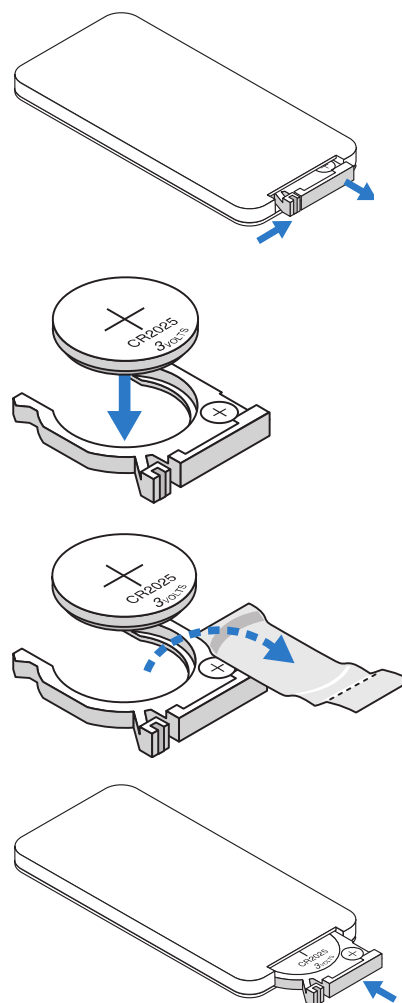
リモコンの電池の取り付け

1. 側面をしっかりと押され、電池ホルダーを引き出してバッテリーホルダーを取り外します。

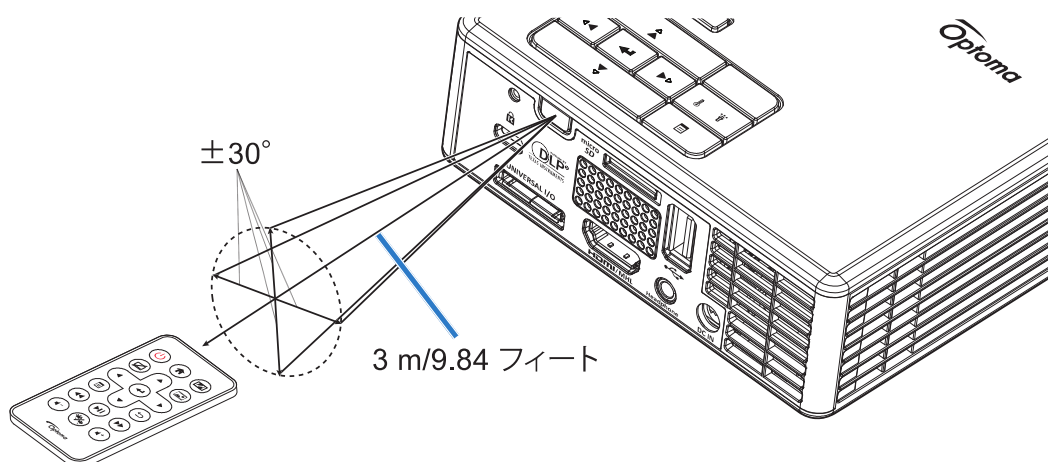
2. CR2025ボタン電池を入れ、電池ホルダーのマークに合わせて電極を正しい向きに合わせます。

メモ: リモコンを初めて使用する際は、電池と端子の間にプラスチックシートが挟んであります。ご使用前にそのシートを取り外してください。

3. 電池ホルダーを元に戻します。



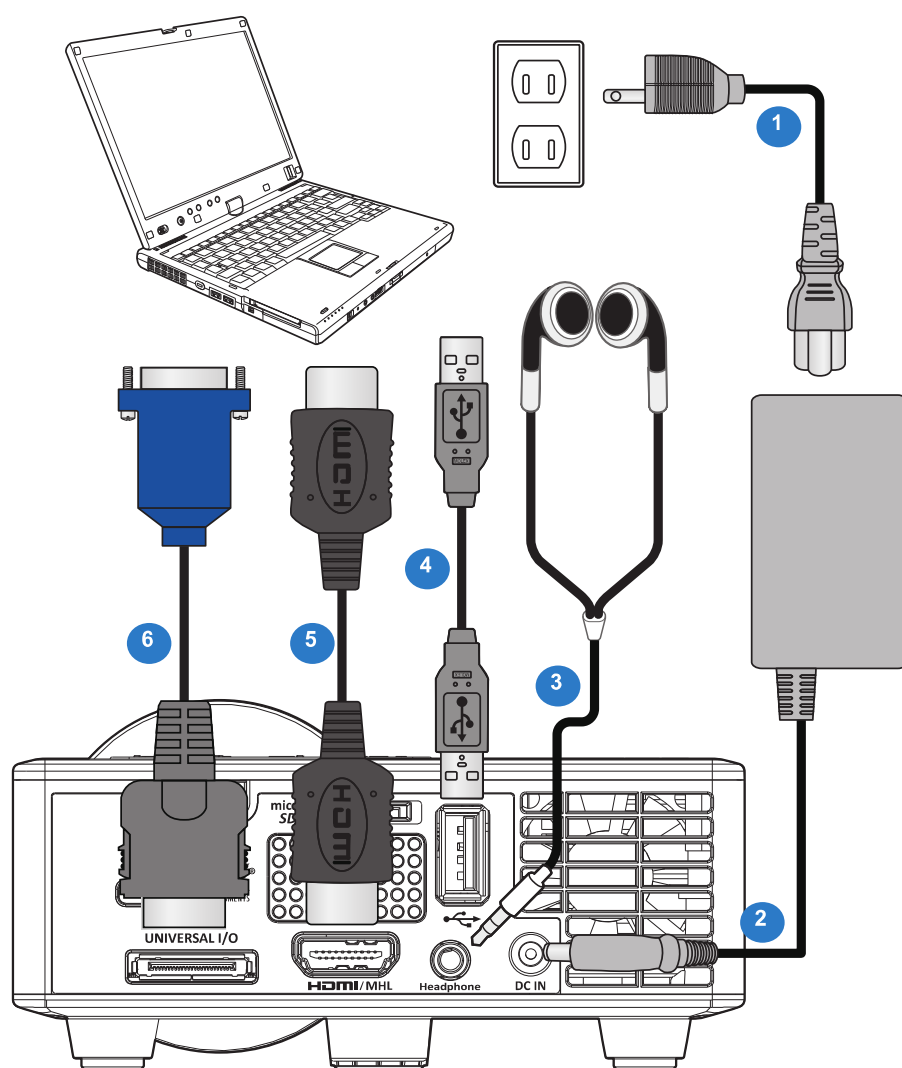
リモコンの動作範囲



メモ: 実際の動作範囲は、図と若干異なることがあります。更に、電池が弱るとリモコンの動作範囲が狭くなったり、リモコンが動作しなくなります。

設置

コンピュータへの接続



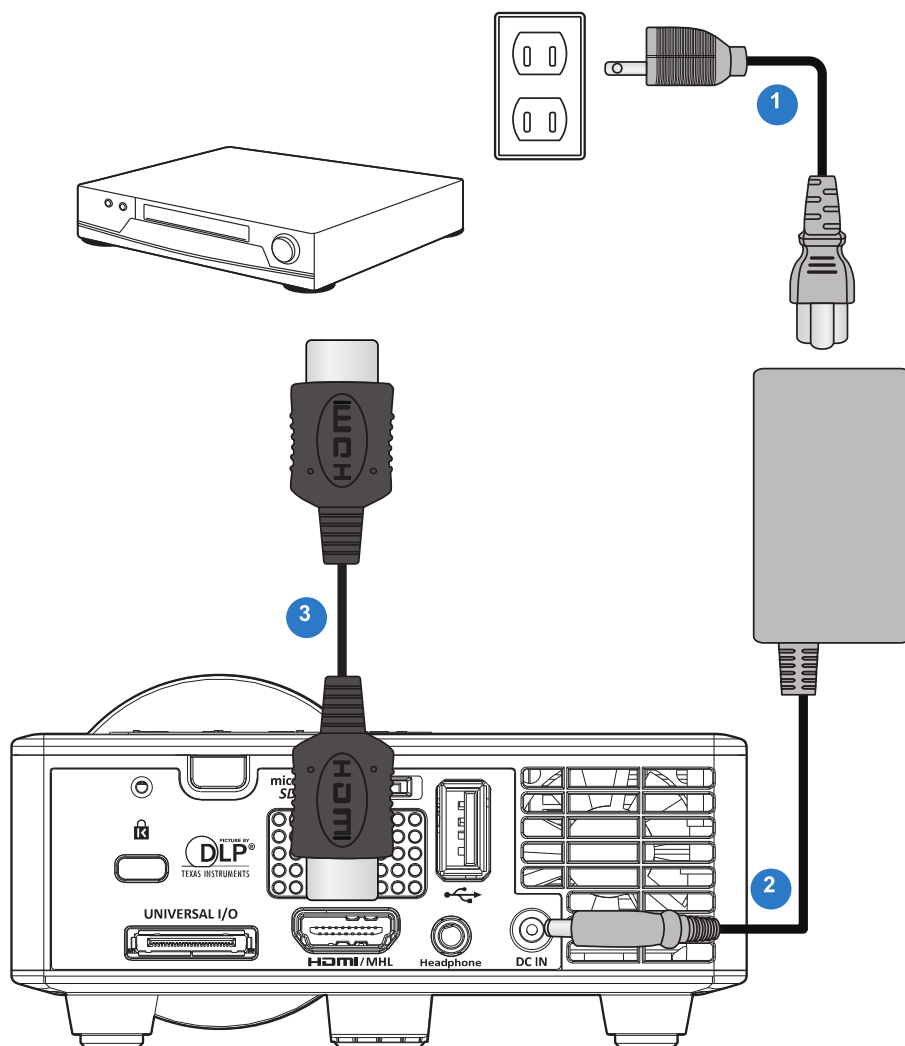
説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 オーディオケーブル (*1)
- 4 USB-A - USB-A ケーブル (*2)
- 5 HDMI ケーブル (*2)
- 6 ユニバーサル 24ピン VGA ケーブル

メモ:

- (*¹) プロジェクターは、TRS タイプのオーディオケーブル (マイク機能無し) のみをサポートします。
一部のヘッドセットでは、インピーダンスの違いにより、音量に若干の差が生じる場合があります (低音量)。
- (*²) プロジェクターに同梱されません。

DVD,Blu-rayプレーヤー等への接続

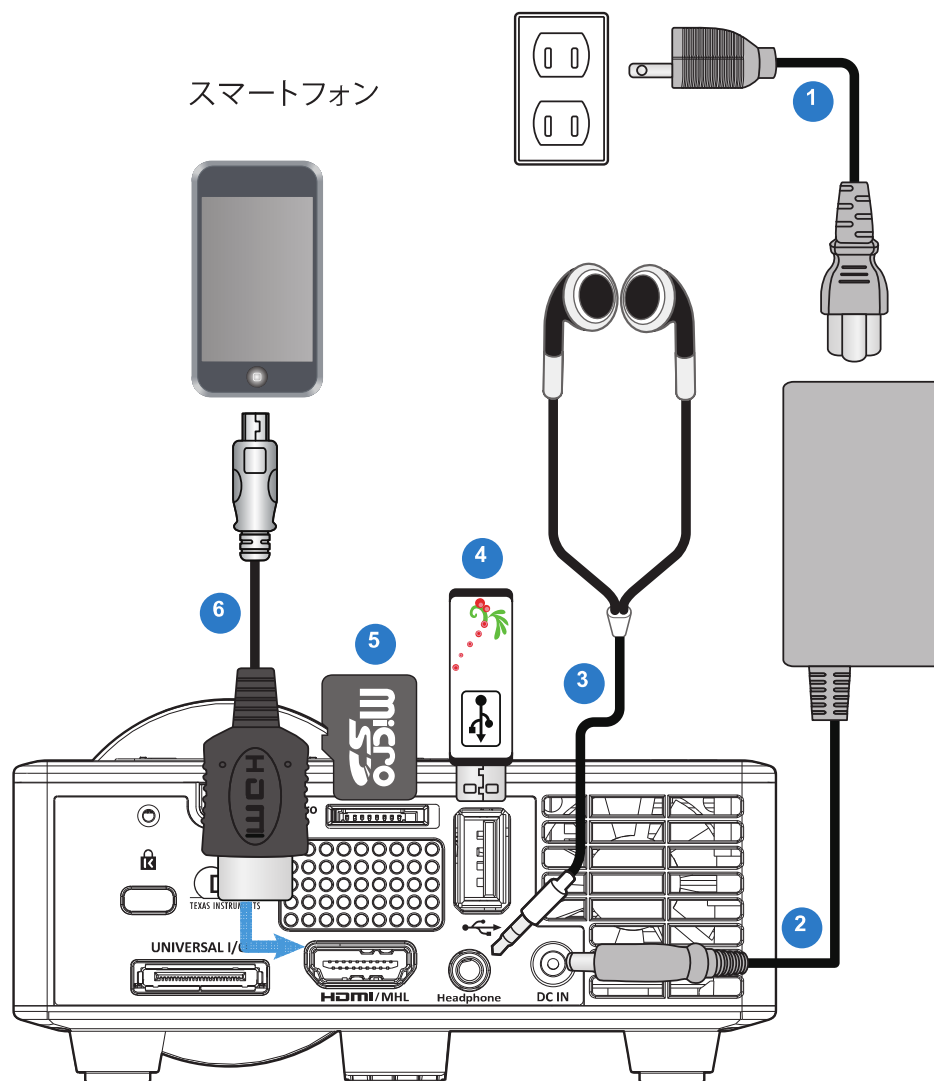


説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 HDMI ケーブル (*2)

メモ: (*2) 付属品はプロジェクターに同梱されません。

マルチメディアへの接続



説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 オーディオケーブル (*1)
- 4 USB フラッシュディスク (*2)
- 5 マイクロ SD カード (*2)
- 6 MHL ケーブル

メモ:

- (*1) プロジェクターは、TRS タイプのオーディオケーブル (マイク機能無し) のみをサポートします。
一部のヘッドセットでは、インピーダンスの違いにより、音量に若干の差が生じる場合があります (低音量)。
- (*2) プロジェクターに同梱されません。

プロジェクターの電源を入れる/切る

プロジェクターの電源を入れる

メモ: プロジェクターの電源をオンにしてから、ソース(コンピュータ、DVDプレーヤーなど)の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンはオレンジ色に点滅します。

1. ACアダプタと一緒に電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクターに接続します。
2. レンズキャップを外します。
3. 電源ボタンを押します。
4. ソース(コンピュータ、DVDプレーヤーなど)の電源を入れます。
5. 適切なケーブルを使用して、プロジェクターにソースを接続します。
6. 入力ソースは、前回接続した入力ソースで決まります。(デフォルトで、プロジェクターの入力ソースはマルチメディアに設定されています)。必要に応じて、プロジェクターの入力ソースを変更してください。

プロジェクターの電源を切る

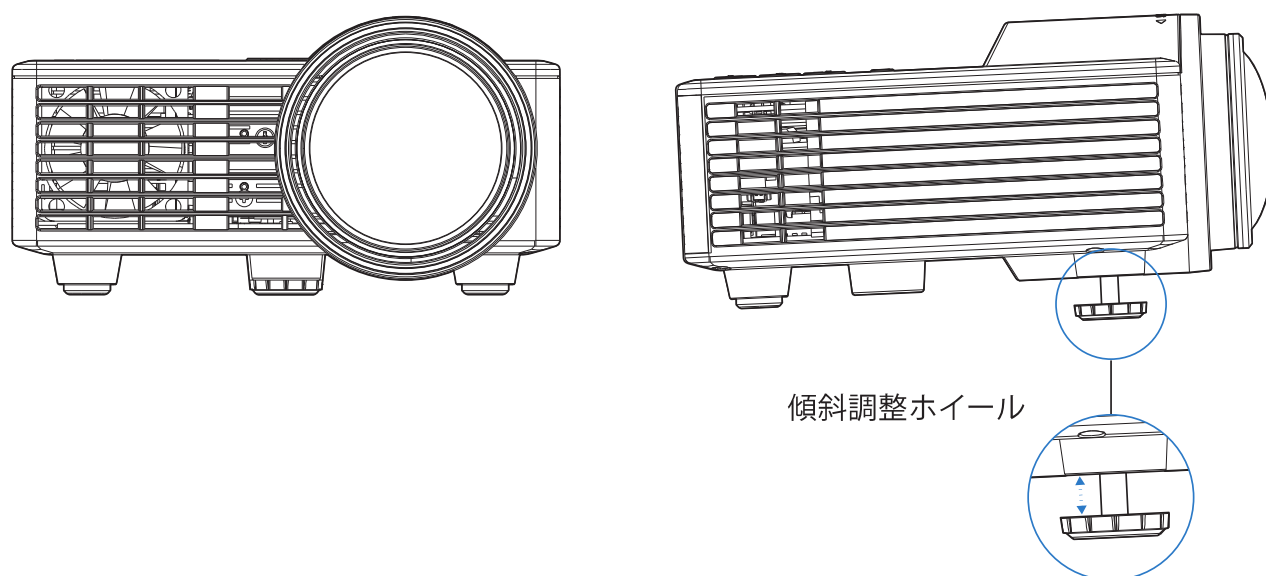
メモ: 「電源ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにします。」メッセージが画面に表示されます。メッセージは5秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消す事ができます。

1. 電源ボタンを押します。プロジェクターを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。
2. 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが3～5秒間作動します。
3. コンセントとプロジェクターから電源ケーブルとACアダプタを外します。

投影画像の調整

プロジェクターの角度を調整する

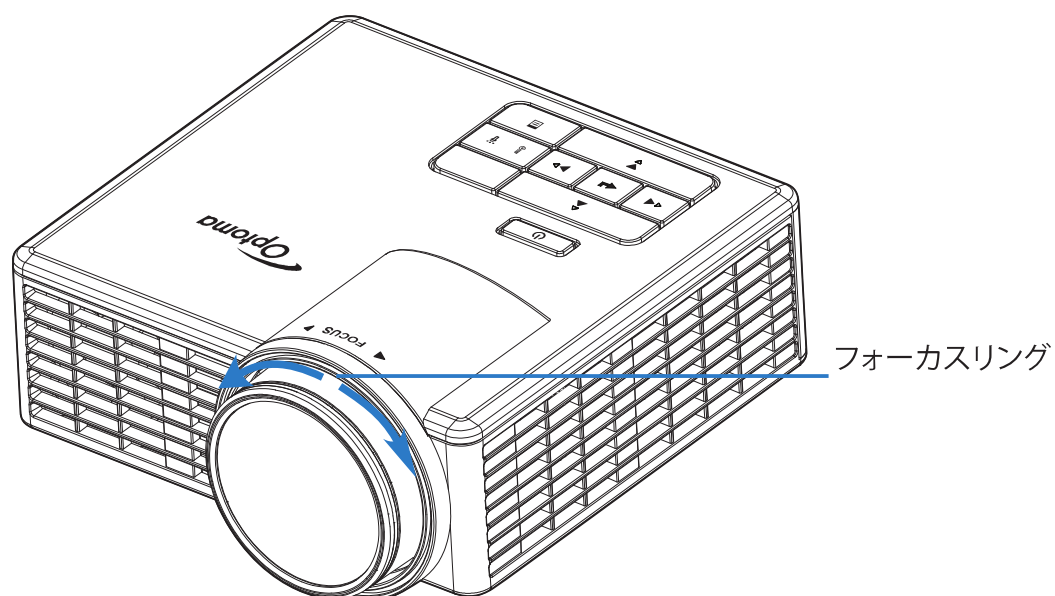
プロジェクターの傾斜調整ホイールを使ってプロジェクターの角度を調整します。



重要な注意: プロジェクターを移動したり、キャリングケースに収納する場合には、調整ホイールが完全に引っ込んでいることを確認してください。プロジェクターが破損する可能性があります。

プロジェクターのフォーカス調整

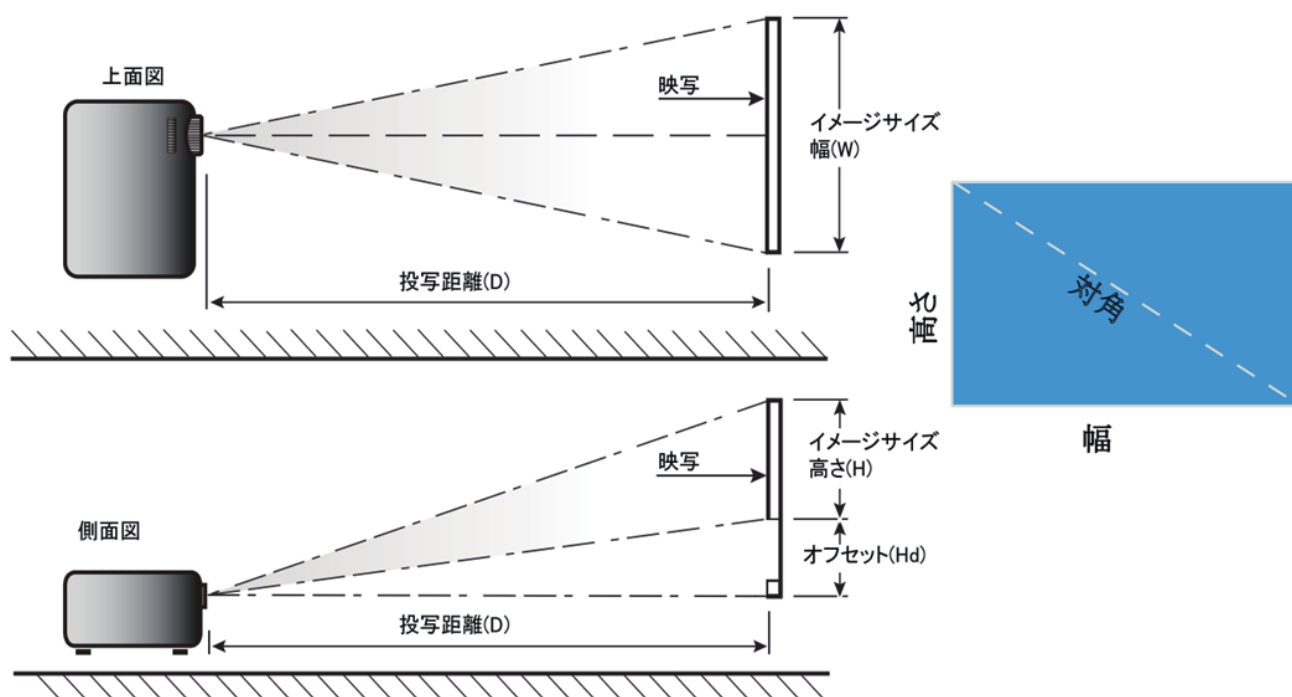
フォーカスは、フォーカスリングを回して調整してください。



【投写距離表】

画面サイズ WXGA (16:10)	イメージサイズ m		投写距離※ m (D)	オフセット m (Hd)
	幅 (W)	高さ (H)		
50	1.08	0.67	0.86	0
60	1.29	0.81	1.03	0
70	1.51	0.94	1.21	0
80	1.72	1.08	1.38	0
90	1.94	1.21	1.55	0
100	2.15	1.35	1.72	0

※ 許容誤差±5%



ユーザー制御

メニューツリー

OSDメニュー				
メイン	入力ソース	VGA／HDMI/MHL／Media		
	音量	0 ～ 10		
	ディスプレイモード	ブライト／PC／シネマ/iDevice／フォト／エコ		
	輝度	0 ～ 10		
	コントラスト	0 ～ 10		
イメージ	3D	オン/オフ		
	3D同期反転	オン/オフ		
	アスペクト比	自動／4:3／16:9／16:10		
	ズーム	50％／75％／100％／125％／150％／175％／200％		
	色温度	Warm／Medium／Cold		
	カラースペース	自動／RGB／YUV		
	周波数	-5 ～ +5		
	位相	0 ～ 31		
ディスプレイ	自動キーストン	オン/オフ		
	キーストン	-40 ～ +40		
	設置モード	フロント／リア／フロント-天吊り／リア-天吊り		
設定	言語	English/Deutsch/Français/Italiano/Español/Polски/Svenska/Nederlands/Português/日本語/繁體中文/簡体中文/русский/한국어/Türkçe/عبرعلا		
	ブートアップソース	自動／VGA／HDMI/MHL／Media		
	電源検知オートパワーオン	オン/オフ		
	スリープタイマー	自動／オフ／30分／1時間／3時間／8時間／12時間		
	詳細設定	iDevice	オン/オフ	
		ミュート	AVミュート／オーディオ／ビデオ	
		彩度	0 ～ 10	
		色あい	0 ～ 10	
	リセット	Yes ／ No		
	Ver.	C** ／ B**		

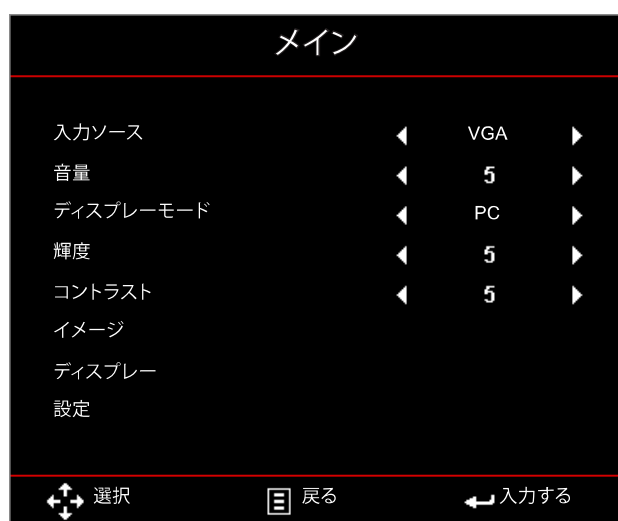
メディア 設定		
システム	バージョン	C****
	更新	USB
フォト	表示比	元/全画面
	スライショドーパターン	ランダム/リング拡散/真ん中の拡大/ブリックの拡張/日よけ/線形相互作用/クロスインタリブド/バンディング代替/長方形の拡大
	スライドショーの時間	10秒/30秒/1分
ビデオ	表示比	レターボックス/カット画面/全画面/元の画面
	繰り返しモード	連続/シングル/Random/once
音楽	繰り返しモード	連続/シングル/ランダム/一回

オンスクリーンディスプレイの使用方法

1. プロジェクターには多言語のオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
2. コントロールパネルまたはリモコンの**メニュー**ボタンを押して「メインメニュー」に移動します。
3. オプションを選択するには、プロジェクターのコントロールパネルまたはリモコンの **◀** または **▶** ボタンを押します。
4. コントロールパネルまたはリモコンの **◀** または **▶** ボタンを使って設定を調整します。
5. OSDを終了するには、コントロールパネルまたはリモコンの**メニュー**ボタンを直接押します。

メインメニュー

メニューメニューを使って、入力ソースの選択、音量の調整、ディスプレイモードの選択、輝度、コントラスト、画像、表示の設定、および、設定のセットアップを行うことができます。



- **入力ソース**: プロジェクターの入力ソースを選択します。 : **VGA、HDMI/MHL、Media**。
- **音量**: 音量を調整します。

メモ: オーディオ出力は、VGA モードではサポートされません。

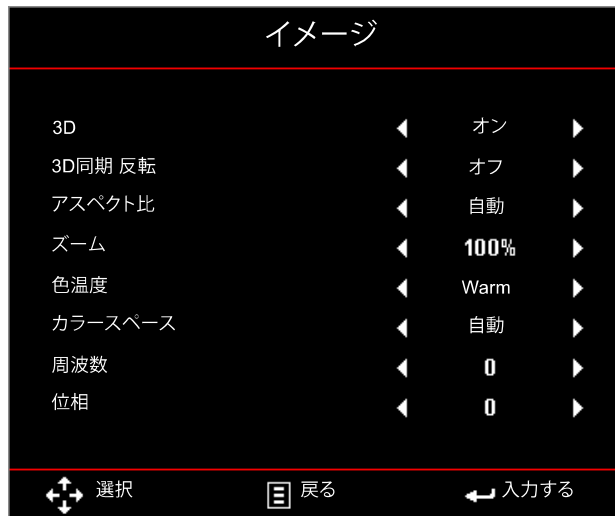
- **ディスプレイモード**: 表示画像を最適化します。 : **ブライト、PC、シネマ/iDevice*、フォト、エコ**。

メモ: *iDeviceは、入力ソースがHDMI/MHLで、iDevice設定 (メイン> 設定 > 詳細設定) が有効である場合、シネマがiDeviceに変わり、選択可能になります。

- **輝度**: 画像の輝度を調整します。
- **コントラスト**: コントラストを調整します。

イメージ

イメージメニューを使って、3D、アスペクト比、ズーム、色温度、カラースペースなどの様々な画像設定を変更することができます。



- **3D:** 3D 機能のオン/オフを切り替えます。
- **3D同期 反転:** 3D 同期反転オプションのオン/オフを切り替えます。

メモ:

- 画像設定を選択している時は、3D/3D 同期反転を変更することはできません。
- 3D モードでは、サポートされる最大入力タイミングは 1024x768 @ 120Hz です。
- DVDプレイヤーやBlu-rayプレイヤーからの3D出力には対応していません。
PCからの3D出力にのみ対応しています。

- **アスペクト比:** 画像のアスペクト比を選択します。
 - 自動: 入力ソースに従って画像プロジェクターの縦横比を維持します。
 - **4:3:** 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3画像を投影します。
 - **16:9:** 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9画像を投影します。
 - **16:10:** 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 画像を投影します。
- **ズーム:** 画像をズームインまたはズームアウトします。 : 50 %、75 %、100 %、125 %、150 %、175 %、200 %。

メモ: 表示倍率はだまかな目安です。

- **色温度:** 色温度を選択します。 : **Warm**、**Medium**、**Cold**。
- **カラースペース:** 適切な色マトリクスタイプを選択します。 : **自動**、**RGB**、**YUV**。
- **周波数:** ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

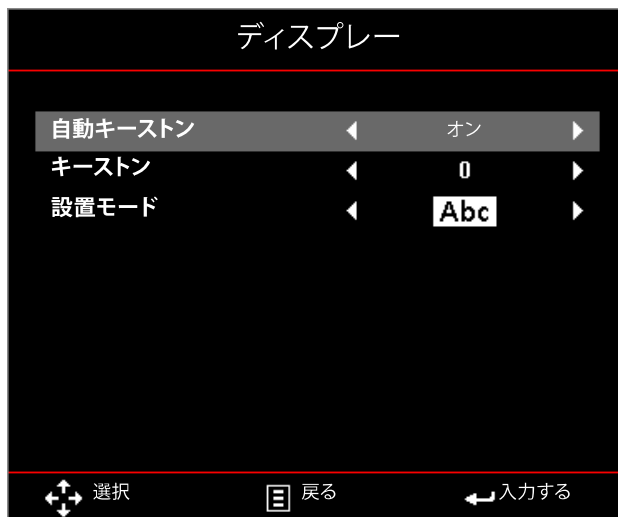
メモ: 各設定項目は入力ソースによっては選択できません。

- **位相：**ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、位相を使って修正します。これは微調整です。

メモ：位相は入力ソースによっては選択できません。

ディスプレイ

ディスプレイメニューで、キーストンや設置モードなどの設定を変更することができます。



- **自動キーストン：**オンを選択すると、プロジェクターを傾けた場合の歪みを自動的に調整します。

メモ：自動キーストン機能は、垂直方向の画像の歪みを調整するためにのみ使用することができます。

- **キーストン：**プロジェクターの傾きによって起こる歪みを調整します (± 40 度)。

メモ：キーストンの度合いを手動で調整する場合は、自動キーストン機能は自動的にオフに切り替わります。

- **設置モード：**プロジェクターの取り付け方法に応じて、設置モードを選択します。

- **自動キーストン：オン**

Abc 反転なし

cdA 左右反転

- **自動キーストン：オフ**

Abc 反転なし

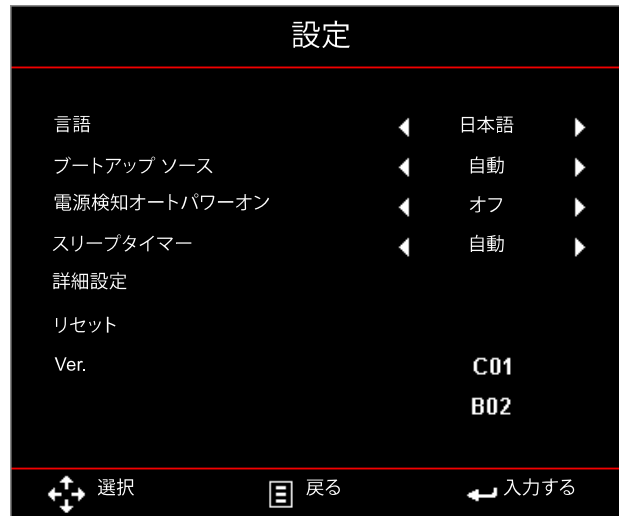
cdA 左右反転

qba 上下反転

Wpc 上下および左右反転

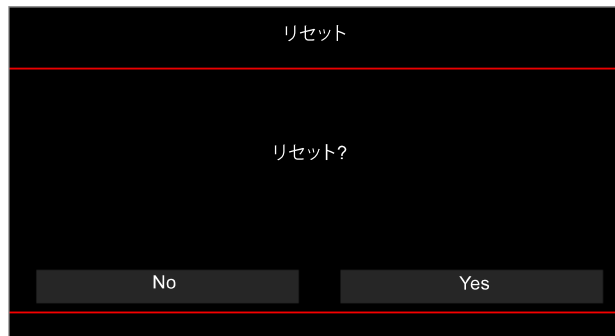
設定

設定メニューを使用して、デフォルト OSD 言語の選択、ブートアップ ソースの変更、スリープタイマーおよびその他の設定を行うことができます。



- **言語:** OSD の言語を選択します。
： 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、ロシア語、スウェーデン語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、トルコ語。
- **ブートアップ ソース:** プロジェクターの起動ソースを選択します。： **自動、VGA、HDMI/MHL、Media。**
メモ: ブートアップ ソースが「自動」に設定されている場合、プロジェクターの起動時に、入力ソースは常に、前セッションと同じ選択がされます。
- **電源検知オートパワーオン:** オンを選択すると、ダイレクトパワーモードを起動します。プロジェクターのコントロールパネル、またはリモコンで**電源**ボタンを押さなくても、AC 電力の供給時にプロジェクターの電源が自動的に入ります。
- **スリープタイマー:** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終わると、プロジェクターの電源が自動的に切れます。
： **自動、オフ、30分、1時間、3 時間、8 時間、12時間。**
メモ: スリープタイマーが「自動」に設定され、信号が検出されない場合、プロジェクターは、15 分後に自動的に電源オフになります。

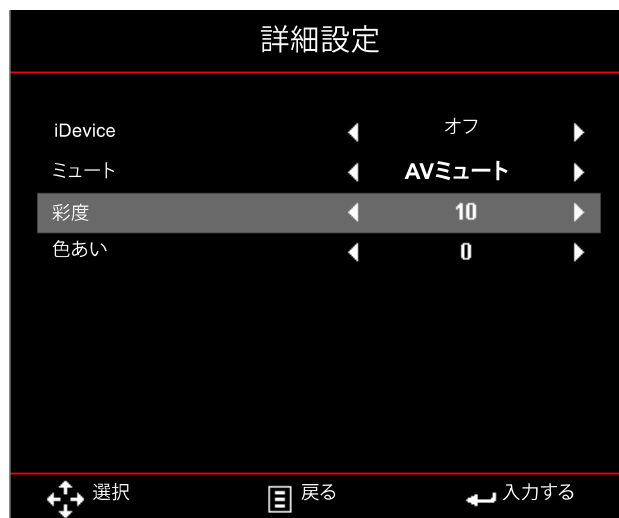
- **リセット:** コンピュータソースおよびビデオソース設定を含むすべての設定を出荷時にリセットします。このオプションを選択すると、確認メッセージが画面上に表示されます。「Yes」を選択して、リセットを確認するか、「No」を選択してキャンセルします。



- **Ver.:** プロジェクターの現在のファームウェアバージョンを表示します。

詳細設定

詳細メニューを使って、**iDevice**、**ミュート**、**彩度**、および、**色あい**の設定を変更することができます。



- **iDevice**: **オン**を選択して、ライトニング HDMI アダプタを通して、iDevice (iPhone/ iPad/ iPod) からの画像を投影する際、最適な色を再現して表示します。

メモ: iDevice からの画像を投影する場合は、ライトニング HDMI アダプタを介してデバイスをプロジェクターに接続し、入力ソースを**HDMI**に設定し、**iDevice**オプションを有効にし (**メイン > 設定 > 詳細設定**)、**iDevice**を表示モードに設定します (**メイン > ディスプレーモード**)。

- **ミュート**: ミュートモードを選択します。: **AVミュート**(音声と映像の両方)、**オーディオ** (音声のみ) 、**ビデオ** (映像のみ)。

メモ: リモコンのミュートボタン(⏸)の機能は、OSD メニューで選択した「ミュート」設定に依存します。

- **彩度**: 画像の彩度を調整します。

メモ: 彩度は入力ソースによっては選択できません。

- **色あい**: 画像の色合いを調整します。

メモ: 色合いは、入力ソースによっては選択できません。

マルチメディアの概要

サポートされているマルチメディア形式:

写真形式

画像タイプ(拡張子 名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大サイズ
Jpeg / Jpg	ベースライン	YUV420	4000x4000=16,000,000 ピクセル
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
	プログレッシブ	YUV420	4000x4000=16,000,000 ピクセル
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
BMP			4000x4000=16,000,000 ピクセル

ビデオ形式

ファイル形式	ビデオ形式	デコード最大 解像度	最大ビットレ ート(bps)	オーディオ形式	プロフィール
MPG、MPEG	MPEG1	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3	
AVI、MOV、 MP4、MKV	H.264	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1 AC3	BP/MP/HP
AVI、MOV、 MP4、	MPEG4	1920x1080 30fps	30M bps	HE-ACC v1	SP/ASP
AVI、MOV、 MP4、	Xivd	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1	HD
AVI	MJPEG	8192x8192 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1	ベースライン
WMV	VC-1	1920x1080 30fps	30M bps	WMA8/9(V1/ v2)	SP/MP/AP

オーディオ形式

音楽タイプ(拡張子名)	サンプルレート(KHz)	ビットレート(Kbps)
MP3	8-48	8-320
WMA	22-48	5-320
ADPCM-WAV(WAV)	8-48	32-384
PCM-WAV(WAV)	8-48	128-1536
AAC	8-48	8-256

Office ビューアー形式

ファイル形式	サポートバージョン	ページ/行の制限	サイズの制限
Adobe PDF	PDF 1.0、1.1、1.2、1.3、1.4	最大1,000ページ(1つのファイル)	最大75MByte
MS Word	British Word 95、 Word 97、2000、2002、2003 Word 2007 (.docx)、 Word2010(.docx)、	Office ビューアーは、MS Word ファイルのすべてのページを同時に読み込むわけではないため、ページと行に明白な制限はありません。	最大100MByte
MS Excel	British Excel 5、95 Excel 97、2000、2002、2003 Excel 2007(.xlsx)、 Excel 2010(.xlsx) Office XP Excel	行の制限:最大595 列の制限:最大256 シート:最大100	最大15MByte

メモ: 上記の制限に1つでも当てはまると、表示できません。

メモ: バージョンや作業環境によっては再生できない事があります。
正しく再生できない場合は、他の形式へ変換し直してから再生してください。

ファイル形式	サポートバージョン	ページ/行の制限	サイズの制限
MS PowerPoint	British PowerPoint 97	最大1,000ページ(1つのファイル)	最大19MByte
	PowerPoint 2000、2002、2003		
	PowerPoint 2007 (.pptx)		
	PowerPoint 2010 (.pptx)		
	Office XP PowerPoint		
	PowerPointプレゼンテーション2003およびそれ以前のバージョン(.ppx)		
	PowerPointプレゼンテーション2007および2010(.ppsx)		

メモ:

- MS PowerPoint ファイルを表示する際、アニメーションはサポートされません。
- ファイルを投影する際、一部の文書は、PC の画面と同じように表示されない場合があります。
- バージョンや作業環境によっては再生できない事があります。
正しく再生できない場合は、他の形式へ変換し直してから再生してください。

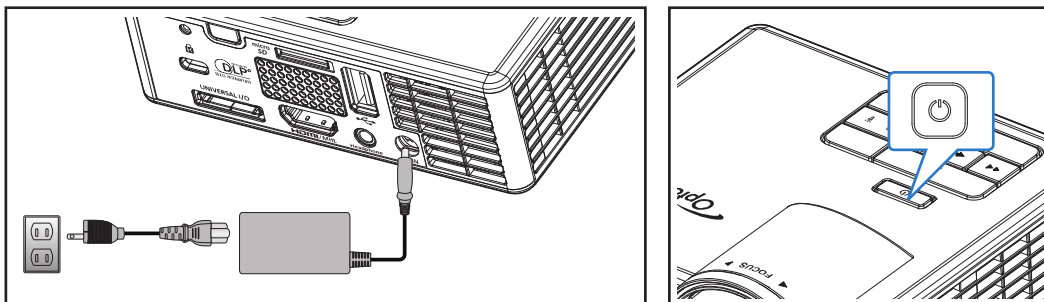
USBメモリ（フラッシュディスク）を使ってマルチメディアファイルを再生する方法

メモ:

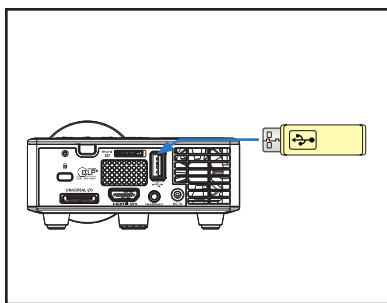
1. USBメモリ(フラッシュディスク)内のマルチメディアファイルを再生には、プロジェクターにUSBメモリ(フラッシュディスク)を接続する必要があります。
2. 互換性の問題があることから、USBポートとカメラを接続しないでください。

以下のステップに従って、プロジェクターで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。



2. **USB メモリ(フラッシュディスク)**をプロジェクターに差し込みます。

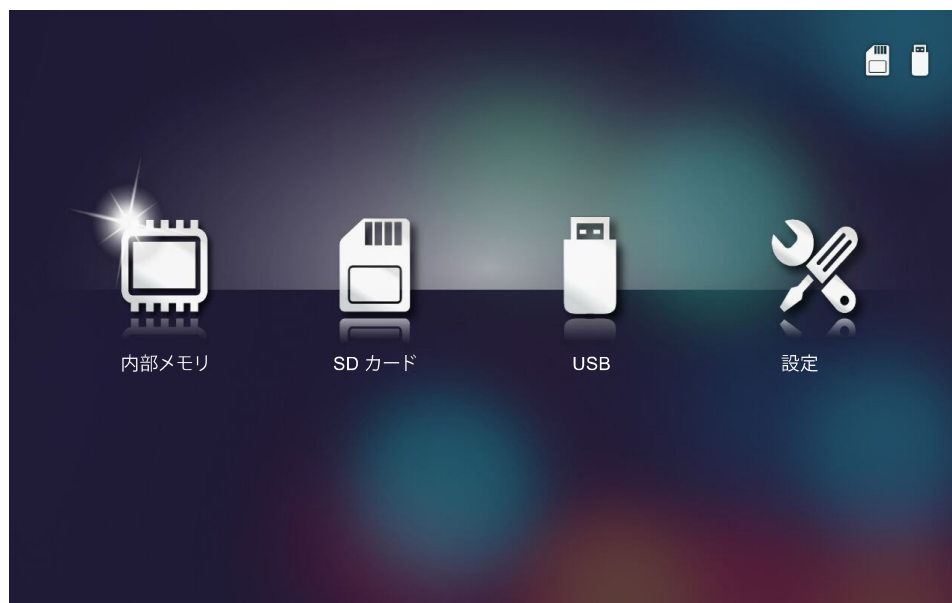


マルチメディアメニューが開きます。

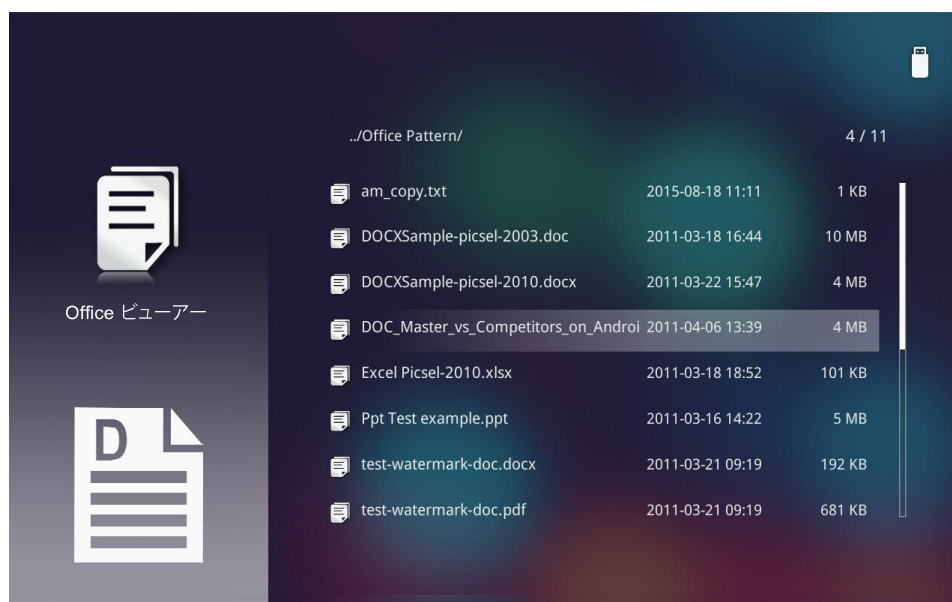


メモ: メインメニューを開くには、リモコンの**メニュー**ボタンを押すか、プロジェクターのコントロールパネルの**メニュー**ボタンを1秒間長押しします。

3. **HD メディアメニュー**を選択します。
HD メディアメニューが開きます。



4. **USBメニュー**にアクセスし、マルチメディアファイルを選択します: **フォト**、**ビデオ**、または、**音楽**。または、**設定**オプションを選択して、**フォト**、**ビデオ**、または、**音楽**に対する設定を変更します。
5. 開くファイルを選択します。



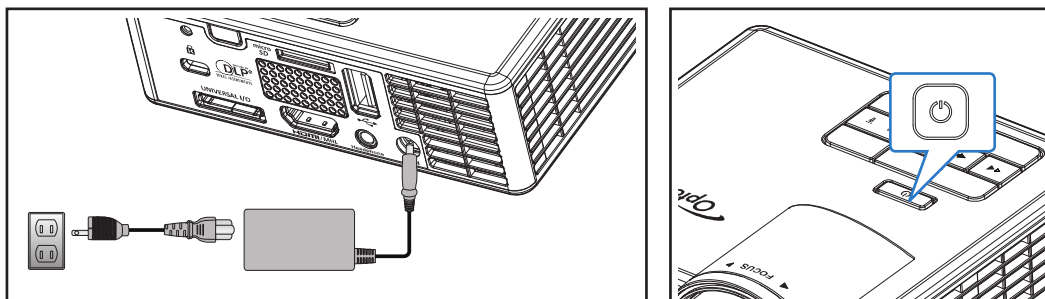
メモ: 許容される最大ファイル名の長さは 28 文字です。

マイクロSDカードを使ってマルチメディアファイルを再生する方法

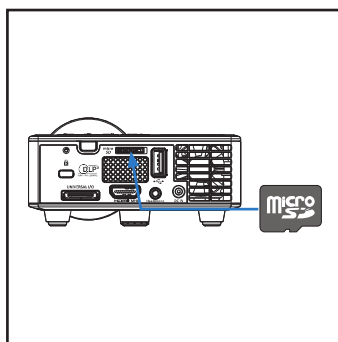
メモ: マイクロSDカード内のマルチメディアファイルを再生するには、プロジェクターにマイクロSDカードを接続する必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクターで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。



2. **マイクロSDカード**をプロジェクターに差し込みます。



マルチメディアメニューが開きます。

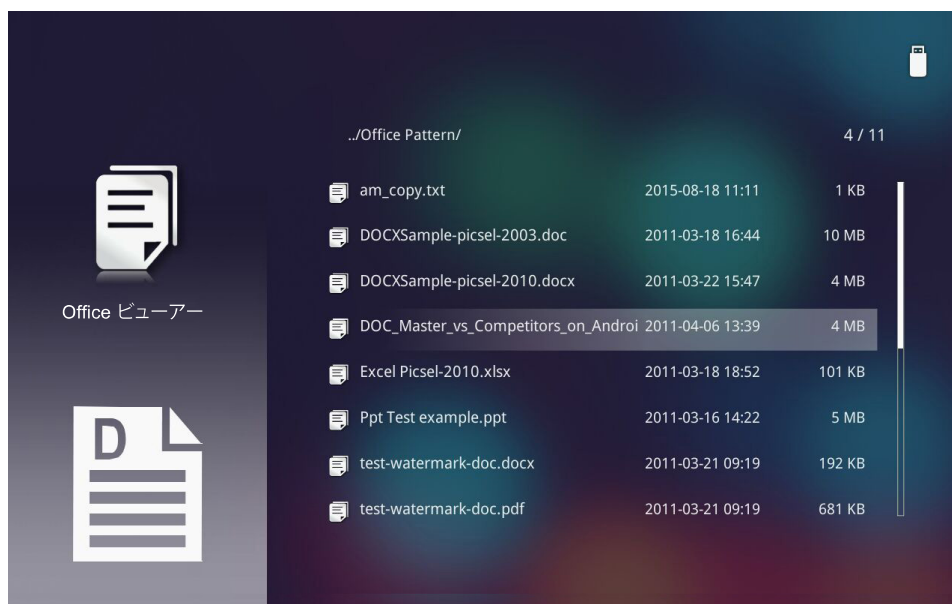


メモ: メインメニューを開くには、リモコンの**メニュー**ボタンを押すか、プロジェクターのコントロールパネルの**メニュー**ボタンを1秒間長押しします。

3. **HD メディアメニュー**を選択します。
HD メディアメニューが開きます。



4. **SD カードメニュー**にアクセスし、マルチメディアファイルを選択します: **フォト**、**ビデオ**、**音楽**。
または、**設定**オプションを選択して、**フォト**、**ビデオ**、**音楽**に対する設定を変更します。
5. 開くファイルを選択します。



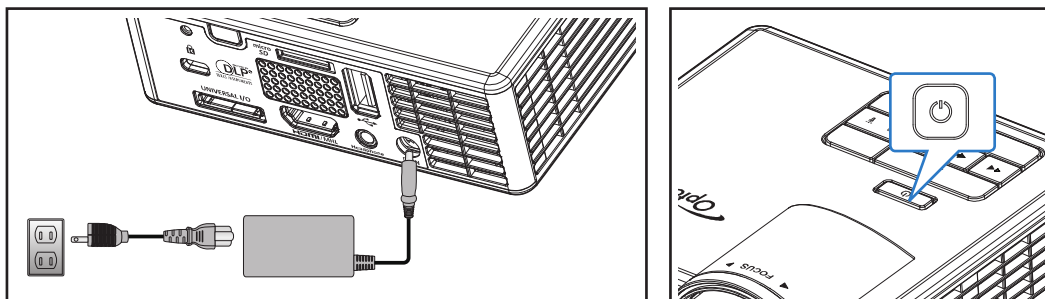
メモ: 許容される最大ファイル名の長さは 28 文字です。

内部メモリを使ってマルチメディアファイルを再生する方法

メモ： 内部メモリ内のマルチメディアファイルを再生するには、プロジェクターの内部メモリにマルチメディアファイルをあらかじめコピーしておく必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクターで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。

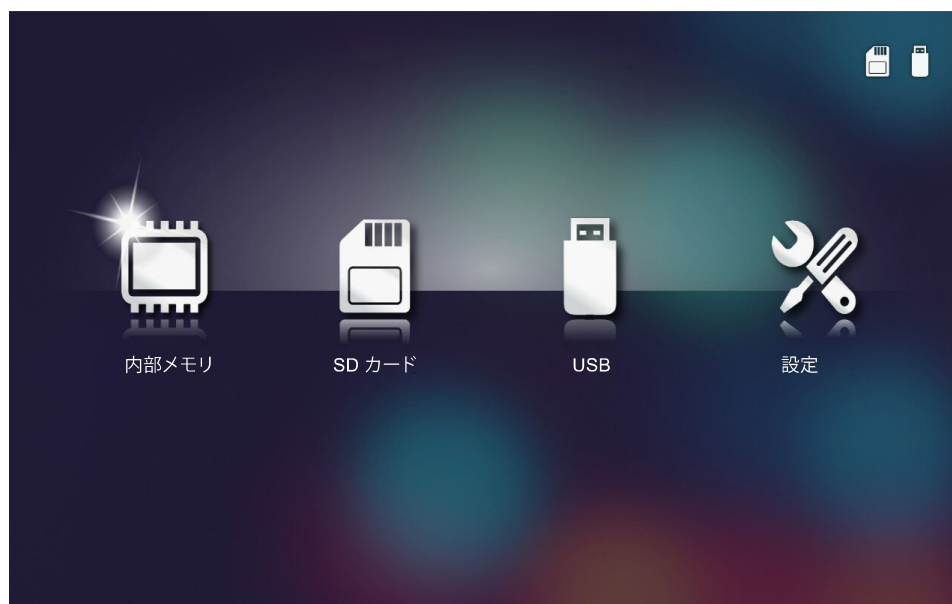


マルチメディアメニューが開きます。

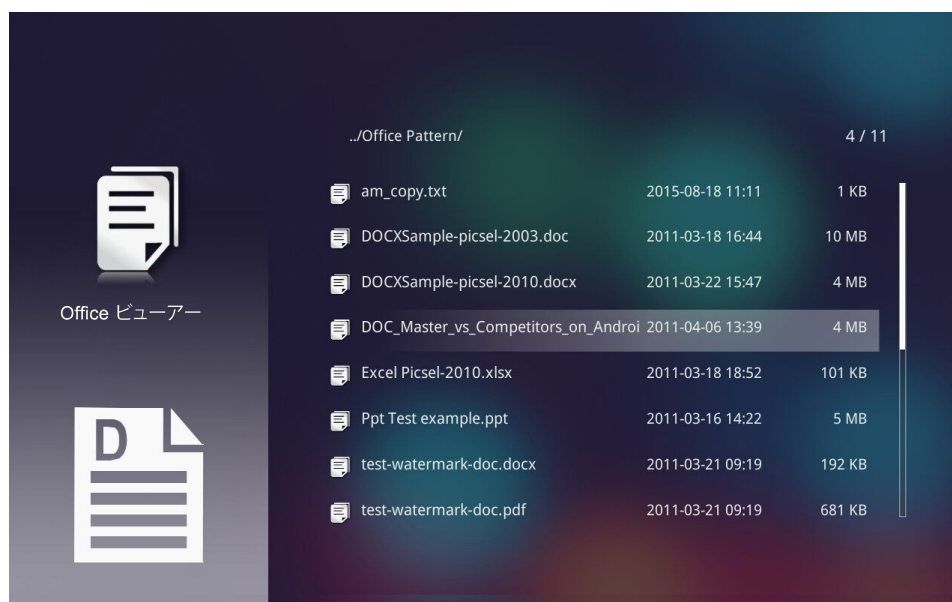


メモ： メインメニューを開くには、リモコンの**メニュー**ボタンを押すか、プロジェクターのコントロールパネルの**メニュー**ボタンを 1 秒間長押しします。

2. **HD メディアメニュー**を選択します。
HD メディアメニューが開きます。



3. **内部メモリメニュー**にアクセスし、マルチメディアファイルを選択します: **フォト**、**ビデオ**、**音楽**。
または、**設定**オプションを選択して、**フォト**、**ビデオ**、または、**音楽**に対する設定を変更します。
4. 開くファイルを選択します。



メモ: 許容される最大ファイル名の長さは 28 文字です。

マルチメディアメインメニュー



システム、USB、マイクロ SD、および、内部メモリに対するマルチメディア設定

マルチメディア設定メニューを使って、システム、フォト、ビデオ、および、音楽に対する設定を変更することができます。



メモ: USB、MicroSD、および内部メモリに対するマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。

システム設定

システム設定メニューにアクセスします。システム設定メニューには、次のオプションがあります：



- **バージョン**
プロジェクターの現在のファームウェアを表示します。
- **更新**
この端末はメンテナンス用です。ご使用にはなれません。

写真設定

写真設定メニューにアクセスします。写真設定メニューには次のオプションがあります：



■ 表示比

写真のディスプレイ比を**元**または**全画面**として選択します。

■ スライドショーパターン

スライドショー効果を選択します。オプション：**ランダム**、**リング拡散**、**真ん中の拡大**、**ブリンクの拡張**、**日よけ**、**線形相互作用**、**クロスインタリブド**、**バンディング代替**、**長方形の拡大**。

■ スライドショーの時間

スライドショーの時間を選択します。タイムアウトになった後、画像は自動的に次の画像に切り替わります。オプション：**10秒**、**30秒**、**1分**。

メモ：スライドショーの時間およびスライドショーパターン機能のみがスライドショーモードに対応しています。

ビデオ設定

ビデオ設定メニューにアクセスします。ビデオ設定メニューには、次のオプションがあります：



■ 表示比

ビデオのディスプレイ比を選択します。

- **レターボックス：**ビデオソースが 16:10 画面に合わない場合、ビデオ画像は、画面に合うように水平方向および垂直方向に均等に伸ばされます。したがって、ビデオの一部が上側と下側 (左側と右側) で切り取られ、ビデオの周りに「黒い領域」として表示されます。
- **カット画面：**スケーリングのないネイティブ解像度でビデオを表示します。投影される画像がスクリーンサイズを超えている場合、切り取られます。
- **全画面：**ネイティブ縦横比に関わらず、16:10 が画面に正確に合うように、ビデオ画像は水平方向および垂直方向に非線形的に伸ばされます。ビデオ画像の周りに「黒い領域」は表示されませんが、元のコンテンツの割合は変形している場合があります。
- **元の画面：**スケーリングのないネイティブ解像度でビデオ画像を表示します。ビデオ解像度が 1280x800 未満の場合は、ビデオ画像の周りに「黒い領域」が表示されます。解像度が 1280x800 を超える場合は、ビデオは 1280x800 解像度で表示されます。

■ 繰り返しモード

ビデオの繰り返しモードを選択します。オプション：**連続**、**シングル**、**Random**、**once**。

音楽設定

音楽設定メニューにアクセスします。音楽設定メニューには、次のオプションがあります:



■ 繰り返しモード

音楽再生モードを選択します。オプション: **連続**、**シングル**、**ランダム**、**一回**。

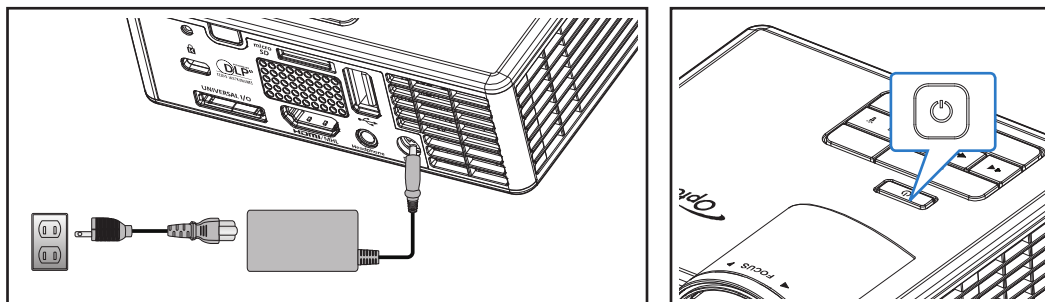
その他のマルチメディア接続

マルチメディアメニューを使って、PC からのファイルを内蔵メモリに保存したり、送信機側端末(スマートフォン、PC)の画面を投影したりすることができます。

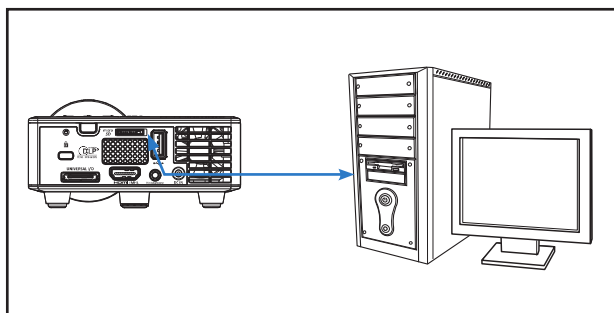
PC からのファイルの保存

次の手順に従い、PC からのファイルを保存します：

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。



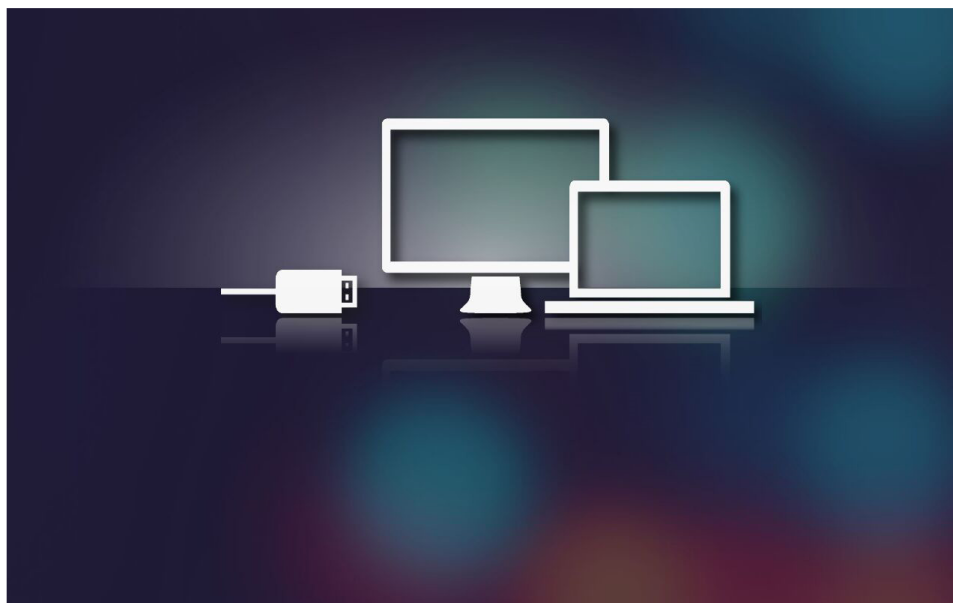
2. PC のハードディスクのファイルにアクセスするには、両端がUSB-A ケーブルの一端を PC に、USB ケーブルの他端をプロジェクターに差し込みます。



マルチメディアメニューが開きます。



3. PCへの接続メニューを選択します。
PCへの接続メニューが開きます。



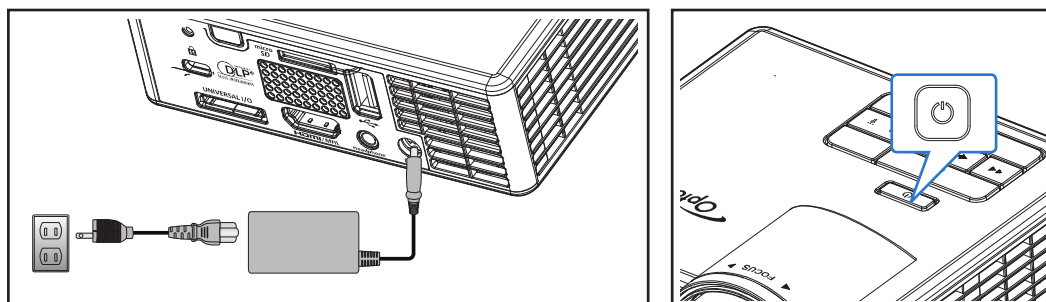
4. 内蔵メモリに保存するファイルを選択します。
ヒント: また、Windows 10 および Mac OS 10.9 では、PC からのファイルをプロジェクターの内部メモリ、または、プロジェクターに挿入したマイクロ SD カードに直接保存することができます。

送信側端末との無線接続

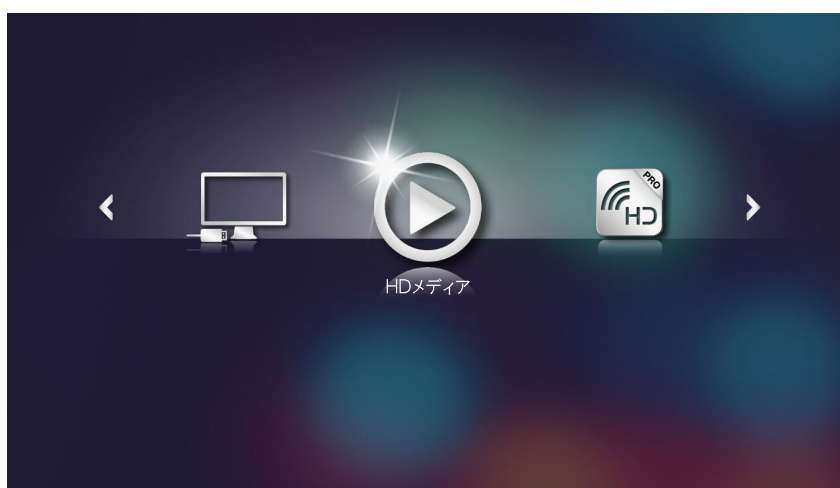
HDCastPro機能で、送信側端末(スマートフォン、PC)に保存された動画や画像の再生、MS-Office、PDF、iWorksの使用やミラーリング等の機能を無線で利用することができます。

次の手順に従ってHDCastPro機能を使用します：

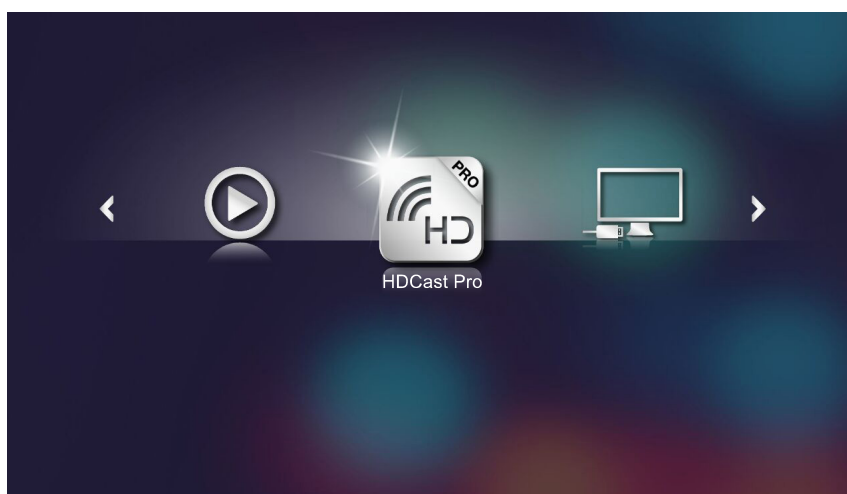
1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。



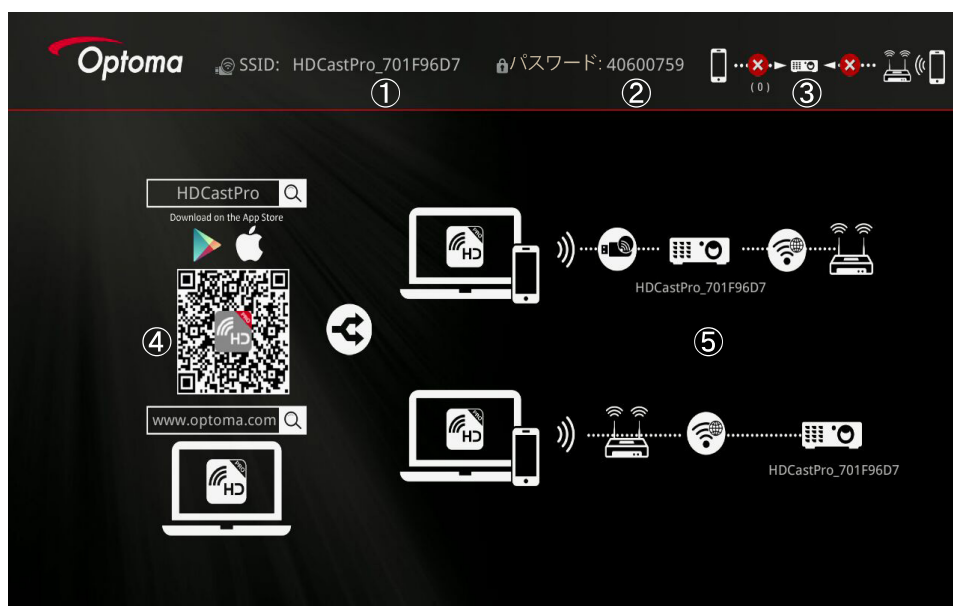
マルチメディアメニューが開きます。



2. **HDCast Pro** メニューを選択します。



HDCast Pro メニューが開きます。

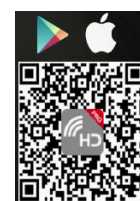


- ①SSID
- ②パスワード
- ③ネットワーク接続の状態
- ④HDCastProアプリをダウンロードするQRコード
- ⑤接続方法

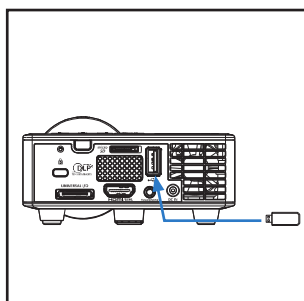
3. 次のいずれかを行います:

- 送信機端末の種類に応じて、**App Store** (iOS) または**Google Play** (Android) を開き、**HDCast Pro** 検索し、アプリを送信機端末にインストールします。
- スマートフォンから、**HDCast Pro** メニューの QR コードをスキャンし、画面上の指示に従い **HDCast Pro** アプリをインストールします。
HDCast Pro メニューのQRコードがスキャンできない場合は、右のQRコードをスキャンしてください。

PCを使用される場合は、**HDCast Pro** アプリを
www.optoma.com/hdcastpro Web サイトからダウンロードしてください。



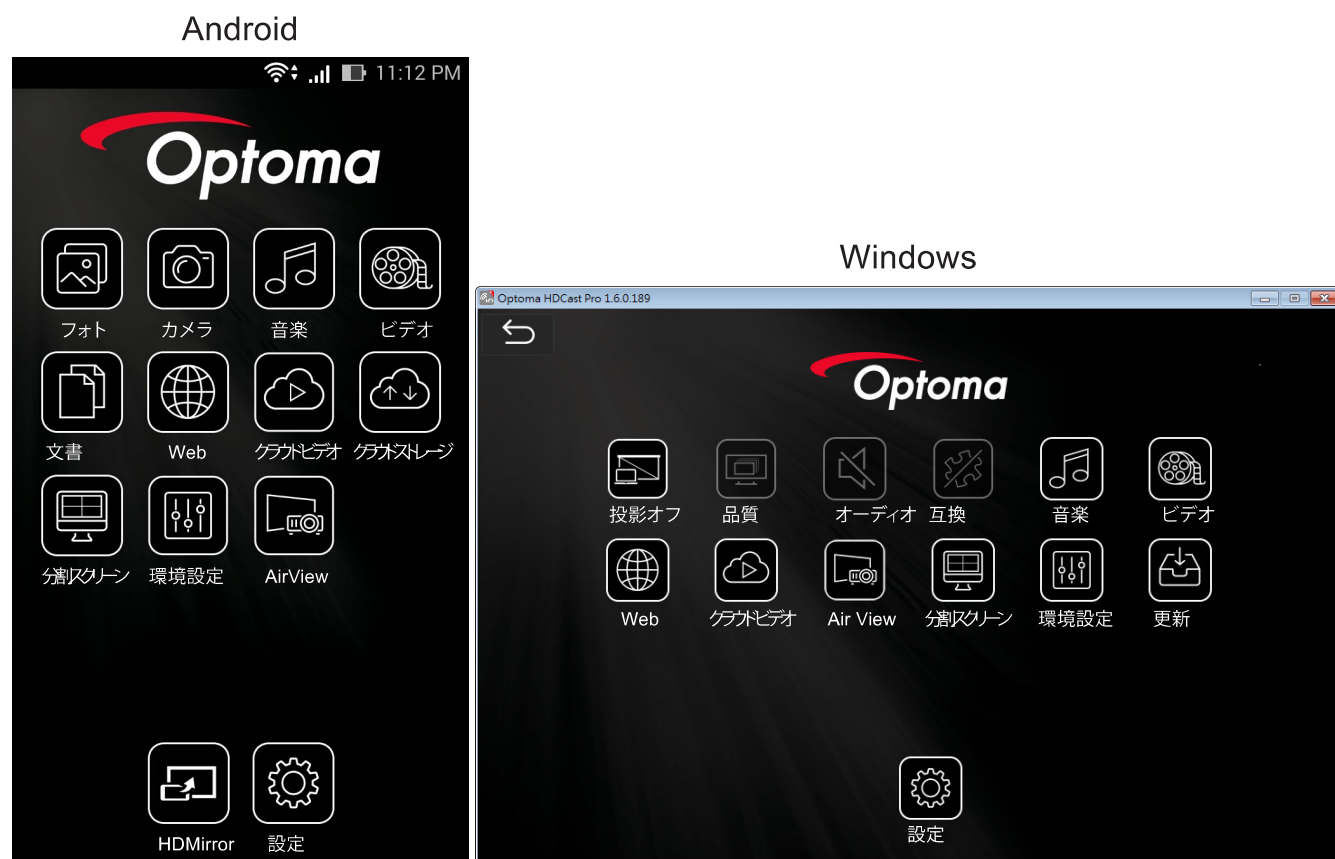
4. Wi-Fi ドングルをプロジェクターに差し込みます。



5. 送信機端末を Wi-Fi を介してプロジェクターに接続します。
接続パラメータ (SSID、パスワード) は **HDCast Pro** メニュー画面の上部を参照してください。

メモ: プロジェクターの SSID および Wi-Fi パスワードは、接続する Wi-Fi ドングルにより異なります。

6. 送信機端末で HDCast Pro アプリを起動し、次の画面が開きます。



詳しくは 別紙 HDCastProの取扱説明書を参照してください。

付録

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解決しない場合は、最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

問題	解決方法
画面に画像が表示されない。	- プロジェクターの電源がオンになっていることを確認してください。 - OSD メイン > 入力ソースメニューで正しい入力ソースを選択していることを確認してください。 - 外部出力が有効になっていることを確認します。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。 - すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。 - コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認してください。
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。	- 解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての機器とプロジェクターを再起動します。 - 画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。
画面にプレゼンテーションが表示されない。	ノートパソコンをお使いの場合は、を押して、出力設定を切り替えます。例：[Fn]+[F4]キー。
画像が不安定、または、ちらつく。	OSD メイン > イメージ > 位相メニュー (PC モードのみ) で位相を調整してください。
画像に縦線が入る。	OSD メイン > イメージ > 周波数メニュー (PC モードのみ) で周波数を調整してください。
画像の焦点が合わない。	- レンズのフォーカスリングを調整してください。 - 投写距離が下記の範囲内であることを確認してください。 [86 cm ~172cm]
16:9 DVDを表示すると画像が伸びる。	- プロジェクターは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像のアスペクト比を入力信号に従って元の設定で維持します。 - 画像がそれでも伸びる場合は、OSD の メイン > イメージ > アスペクト比メニューでアスペクト比を調整してください。

問題	解決方法
オレンジ色のLED警告インジケータ(LED)が点灯しています。	プロジェクターのLEDが故障したため、プロジェクターは、自動でシャットダウンします。問題が解消しない場合は販売店または、コンタクトセンターまでお問い合わせください。
オレンジ色のTEMP警告インジケータ(LED)が点滅しています。	- プロジェクターが過熱しています。プロジェクターは自動でシャットダウンします。プロジェクターが冷却してから電源をもう一度入れます。問題が解決しない場合は販売店またはコンタクトセンターまでお問い合わせください。 - プロジェクターのファンが故障した場合、プロジェクターは自動で停止します。電源ボタンを 10 秒間長押しして、プロジェクターのモードをリセットしてください。5分程待つてから、再び電源をオンにしてください。問題が解決しない場合は販売店または、コンタクトセンターまでお問い合わせください。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。その場合、新しいCR2025電池と交換してください。

ガイド信号

プロジェクター ステータス	説明	電源 (青/オレンジ 色)	TEMP警告 (オレンジ 色)	LED警告 (オレンジ 色)
スタンバイ モード	スタンバイモードのプロジェクター。 電源を入れる準備ができました。	オレンジ色	オフ	オフ
電源オン	通常モードのプロジェクター。 画像表示の準備ができました。	青	オフ	オフ
プロジェクター が過熱	通気口が塞がれているか、周囲の温度が 35°Cを超えていることが考えられます。 プロジェクターは自動でシャットダウンし ます。通気口がふさがれておらず、周囲 の温度が動作範囲内にあることを確認し ます。問題が解消しない場合は販売店ま たはコンタクトセンターまでお問い合わせ してください。	オレンジ色の 点滅と青色の 点灯	オレンジ色 点滅 (オフは 1 秒、 オンは 3 秒 という周期 です)	オフ
ファンの故障	ファンが故障しました。プロジェクター は自動でシャットダウンします。問題が 解消しない場合は販売店またはコンタ クトセンターまでお問い合わせください。	オレンジ色の 点滅と青色の 点灯	オレンジ色 点滅 (オフは 0.5 秒、オンは 2 秒という周 期です)	オフ
LED故障	LEDが故障しています。	オフ	オフ	オレンジ色

メモ: ファントラブルがある場合、温度 LED がオレンジ色に点滅します (2 秒間オン/0.5 秒間オフ)。
プロジェクターのファンが故障すると、プロジェクターは自動的に停止します。
電源 ボタンを 10 秒間 長押しして、プロジェクター のモードをリセットしてください。
5分間程待ってから、再び電源をオンにしてください。

互換モード (HDMI/VGA)

信号	モード	解像度	リフレッシュレート (Hz)
HDMI、VGA (ユニバーサルポート経由)	VGA	640 x 480	60/75
	SVGA	800 x 600	60/75/120(*)
	XGA	1024 x 768	60/75/120(*)
	SXGA	1280 x 1024	60/75
	WXGA	1280 x 768	60/75
	WXGA	1280 x 800	60
	WXGA	1366 x 768	60
	WXGA+	1440 x 900	60/75
	SXGA+	1400 x 1050	60
	WSXGA+	1680 x 1050	60
HDMI、YPbPr (ユニバーサルポート経由)	480i	720 x 480	30
	480p	720 x 480	60
	576i	720 x 576	25
	576p	720 x 576	50
	720p	1280 x 720	50/60
	1080i	1920 x 1080	25/30
	1080p	1920 x 1080	24/50/60

メモ: (*) TI DLP 3D 用 3D タイミング。

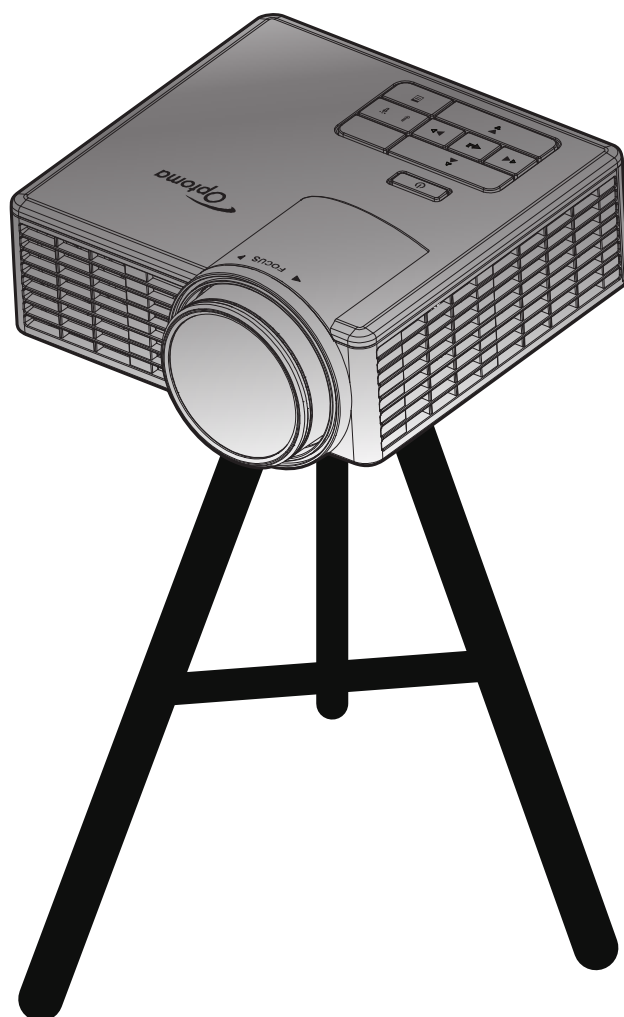
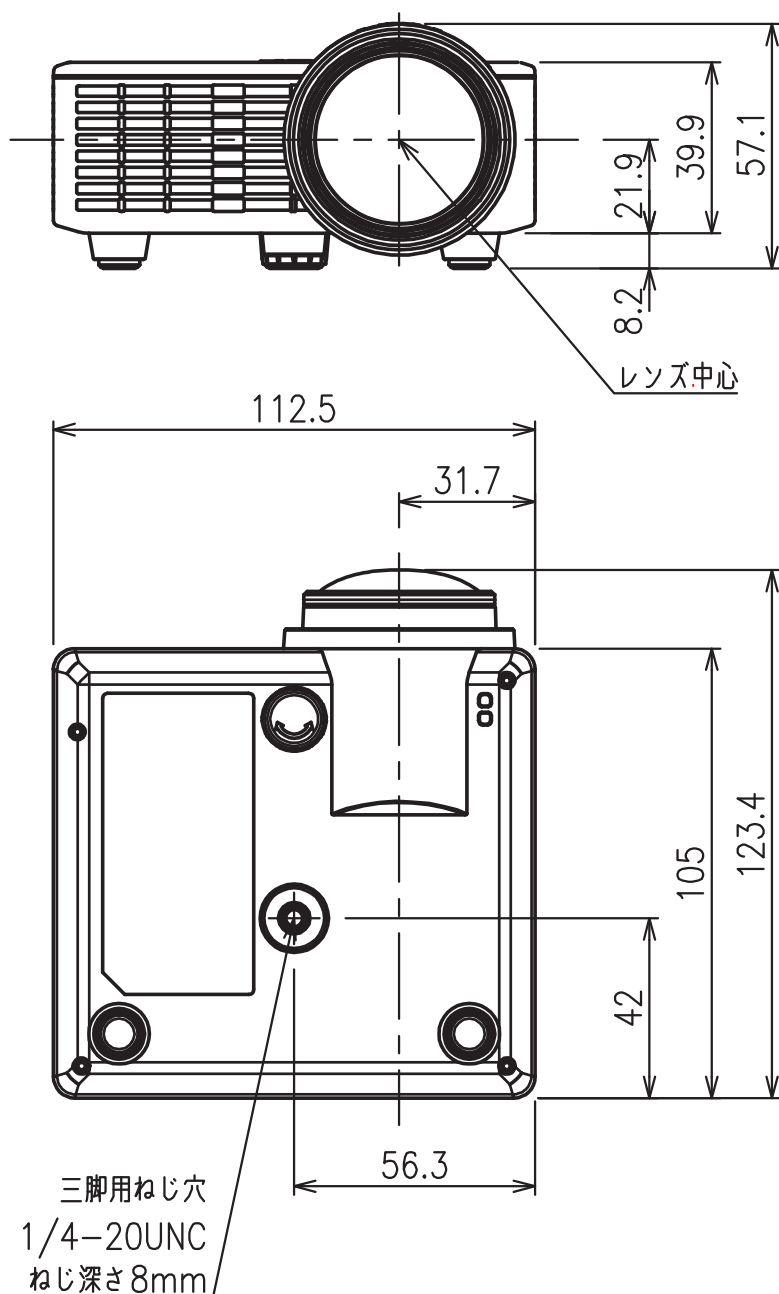
プロジェクターの三脚への取り付け

プロジェクターのねじ穴に三脚をねじで取り付けます。

メモ: 三脚は別途ご用意ください。

設置を誤って損傷した場合は保証の対象外になりますので、お気をつけください。

単位:mm



メモ

メモ

メモ

メモ

保 証 書

1. 保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。
 - (1) この保証書のご提示がない場合。
 - (2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
 - (3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
 - (5) 火災や天災等による故障および損傷。
 - (6) 消耗品および付属品の交換の場合。
2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し上げます。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちに買い上げ取扱店にお申し出ください。
 - ※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only Japan
 - ※ 故障品の修理に要する当社までの運送費はお客様のご負担でお願いいたします。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

型 式			
シリアル番号			
ご 購 入 日	年 月 日	保証期間	1 年間
販売店			

東京都足立区綾瀬3-25-18
 株式会社オーエス
 コンタクトセンター: 0120-380-495
<https://www.os-worldwide.com/>
 E-mail: info@os-worldwide.com

東京都足立区綾瀬3-25-18
 株式会社オーエスプラスe
 コンタクトセンター: 0120-212-750
https://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/
 E-mail: e.info@os-worldwide.com